

平成30年第1回 経済建設委員会会議録

平成30年3月12日

第2委員会室

開 会：午前8時58分

委 員 長 町野 道明

副委員長 西尾 努

2番委員 中嶋 元則、3番委員 後藤 康司、4番委員 水野 功教、5番委員 柘植 晃

委員長 ;おはようございます。ただ今から平成30年第1回経済建設委員会を開会いたします。
本日の会議は、去る2月22日の本会議において、当委員会に付託された議案の審査であります。議事の進行は別紙の次第書の順序で行いますので、よろしくお願いいたします。それでは、はじめに市長さんからご挨拶をお願いします。

市長 ;皆さん、おはようございます。本日は早朝より第1回の経済建設委員会にお集まりいただきまして、まことにありがとうございます。近況の報告を少し申し上げます。最近、新聞報道で東美濃ナンバーの実現協議会の話がちょくちょくと出ています。民意がちゃんと反映されていないという、そんな話が出ています。事実関係から申し上げますと、2月16日に実現協議会がありまして、そこでは一応やるという前提で話が動いていますけども、その後、新聞等の独自の調査によりますと、若干反対のほうが多いんじゃないかということで、3月中での県庁への申請は少し見送ろうかという話になっておるようでございます。ただし、正確に伝わっているわけでもないんですけど、改めて3月中に実現協議会が開かれた上で、その後の手順が決まるというふうに思っております。決まり次第、また全員協議会等で議員の皆様にはご報告を申し上げたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。それでは本日は17件という大変たくさんの議題でございます。ぜひ、最後まで慎重審議よろしくお願い申し上げます。

委員長 ;ありがとうございました。続きまして副議長さんご挨拶をお願いいたします。

副議長 ;おはようございます。第1回の経済建設委員会、17件の議案ご苦労さんですが、早朝からお願いいたします。男性ばかりかなと思ったが、ここは男性ばかりの委員かなと思ったら紅一点。また事務局のほうも女の人もみえたんであっと思いましたけど、本当にご苦労さんですが、よろしくお願いいたします。

委員長 ; ありがとうございます。それでは議題に入りますが、各議案の内容は本会議において詳細説明まで受けておりますので、直ちに委員の質疑、それに対する答弁、討論、採決という順序で進めさせていただきます。なお、発言につきましては、委員長の許可を得て必ずマイクのランプが点灯し、近くに近づけていることを確認しながらお願いをいたします。

委員長 ; はじめに「議第 2 号 恵那市非常勤特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について」を議題といたします。本件に対する質疑を行います。ご質疑はありませんか。4 番委員。

4 番委員 ; これは農業委員の評価、その認定。しっかりやったらよくお金あげるし、あまりやらなければちょっと低いよ。というふうな制度に思うわけですが、国の 26 年の法改正で、今までの農業委員会とはどのように変わったのか。それから農地等の利用の最適化が必要条件となったとは、これはどういうことなのか。それについてまず伺いたいします。

委員長 ; 農業委員会事務局長。

農業委員会事務局長 ; 今のお尋ねですが、まず法改正でございますけども、法改正につきましては、今まで農業委員会というのは公職選挙法で選挙をされるということで以前あったものが、市長の任命制に変わったということ。それから、新たに農業委員のほかに農地利用最適化推進委員さん、こちらのほうがそういった役割の方が新たにできたということ。このことがまず委員さん方の規定が変わってきたということでございます。そして、各それぞれの農業委員会を設置している市町村で随時任期が終わり次第、新体制に変わっていくと、こういうふうな暫定的な措置をされまして、恵那市におきましては、平成 28 年のときに新体制に移行したというふうになっております。そして、集積等、それから耕作地放棄こういったものについて、以前はそういうことを努めるということでございましたけど、しなければならないという必須業務になったということで、農地集積集約化、遊休農地発生防止解消、それから新規参入の促進、こういったものが農地利用の最適化ということで必須業務となったということでございますので、今回の条例改正もそれに伴う農業委員の責務が明らかにすることとあわせて、それに対する報酬を出すと、こういった目的でございます。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; そうすると、農地を管理するについて、最適化、何が最もいいかというようなこと

について努めるのは農業委員の仕事であって、それについてしっかりやったら、銭もやるし、いい加減ならやらんよと言うけれど、ならどうやって具体的に評価をするんですか。

委員長 ; 農業委員会事務局長。

農業委員会事務局長 ; ただいまのことにつきましては、まず農地最適化の中の特に今回は農地の集積、集約化、これは担い手への集積ということでございますけども、それと、遊休農地の発生防止解消という中では解消のほうでございます。これらについて、あらかじめ各市ごとに国の定める基準に基づいた目標面積というものを出示しておりまして、それに対する評価として、どれだけそれが解消できたか、それについては基本的に農業委員会がどのように関わったかという一つの実績が必要なわけですが、それに応じてパーセンテージで点数化しておりまして、そのパーセンテージによって評点を決めて、今回条例に出しています最高額でございますけども、その最高額に対して、出来高を下げるというか調整するということになって、それを年額支給で支給するというようになっております。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; そうすると目標額っていうか、面積っていうか率とかね、そういうような数値を設定する、それはどうだったかというようなことも後で評価する。その事務はどれぐらいなの。事務の係りじゃないの。新たに人がほしくなるんじゃないの。

委員長 ; 農業委員会事務局長。

農業委員会事務局長 ; 農地担い手集積化については、毎月毎月、農業委員会でどれだけが集積の対象農地になるかというのは、議題の一つとして挙がっております。そして、基本的には1月から12月までの実績を取って、そして3月までに国のほうに報告すると同時に数値を確定して、3月の報酬時に払うということでございまして、手間的に言いますとそれほど今までと大きく変わったというふうに、新体制になってからでいうと変わってはございません。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; 旧体制と比べたらどうなの。

委員長 ; 農業委員会事務局長。

農業委員会事務局長 ; 旧体制としましても農業委員さんの仕事として考えますと、以前は努力義務だったのが、農業委員さんがそれをしなきゃならんということになりましたので、農業委員さんには、それなりに責務が増える、業務が増えると、こういうふうには認識しておりますし、ここ1年余りの農業委員さんの研修会だとか、それから総会だとか

委員会の中で、その辺はお話しして、仕事として取り組んでいただいております。
農業委員さんには承知していただいていると思っています。事務局としては、先ほど言いましたような事務については今までもやってきておりますので、特段増えているという認識でございません。

委員長 ; 他にありませんか。4 番委員。

4 番委員 ; それなりに評価するのは、それなりのルールや要綱とか、そういうものはあるわけですね、規則とか。評価の仕方について、こういうふうにして国の指導に基づいてやとるわけでしょう。国からこういうふうで、ここについてはこのようにやれというふうに言われてやっておるということだね。はい、分りました。

委員長 ; いいですね。それで。

4 番委員 ; これについては、農家の実施組織である J A なんかについては、どのような意見を聞いて、今度の条例化について聞いておるかどうか。J A は農家の集団で大きな組織だけど、その意見を聞いているかどうか。

委員長 ; 農業委員会事務局長。

農業委員会事務局 ; 農地の集約化やそれから耕作放棄地の解消については、農業委員さんはもとより、担い手への受け渡しという業務が入ります。ここで農地中間管理機構さんへ渡していくというような事務であったりするわけですが、その時には農協さんには必ずかかわっていただいております。この件について農協さんに改めて意見を聞くということはしておりませんが、農地相談等、今現在、年間 10 回ほど繰り返しておりますが、その時にも農業委員さん、それから農業委員の職員、農政課の職員、そして J A の職員、この四者が集まって、それぞれ農地相談を受けて、こういった農地集約化、耕作放棄地の解消、これに向けての農地相談等しておりますので、この件について問題があるかというふうには認識しておりません。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; お金でね、頑張った人には余計出すよと。そうでない人には出さんよという、こういうやり方について、何か農家としてのプライドを傷つけられるような、そんな感じがするわけだよね。そのような面で自主的な組織の農協のほうから何か意見はないかと。具体的に聞いているかどうか。

委員長 ; 農業委員会事務局長。

農業委員会事務局 ; 今回の加算報酬額でございますけれども、基本的に懸念されるところは、地域的なアンバランス。例えば農積集積率が非常によい岩村町であったり、悪いところの串原とか東野とか大井とか、そういったところについて農業委員さんが幾ら頑張っても

そこが進まないんじゃないかっていう議論は実はございました。そういったところで各市の状況を見ますと、これは農業委員会一体としての活動として、ただ単にその委員さんだけが頑張るんじゃないくて、地域的に頑張っていこうと、恵那市全体で頑張っていこうという意識でやっているということございまして、地域の農業委員さんだけ、そのとこだけの委員さんで評価を分けるというような、そういうことは今回予定してございまして、各委員さん均等に配分しようと、こういうふうに考えておりますのでよろしくお願いします。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; 農家の人たちには話はしてあるわけだね。農協なり又は農業委員の皆さんにも。

委員長 ; 農業委員会事務局長。

農業委員会事務局長 ; そういった件については、3 月 1 日に農業の補助制度だとか、それから農地集積の制度だとか、こういったものを農地の経営体の方々を招いて文化センターで説明会を開催しております。その折に農地集約化、耕作放棄地の解消こういったことも中間管理機構も使いながら進めていきたいということをご説明しておりますので、農家の方々にもそういった意向については伝わっているというふうに考えております。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; それについてのご意見はあったか、なかったか。

委員長 ; 農業委員会事務局長。

農業委員会事務局長 ; その時の意見については特に聞いておりませんが、ただ農地集積に関しては担い手をとにかくその地域に作らないと、担い手が受けてもらえないことには何ともならないということで、地域性の先ほど非常にアンバランスがあるというのは、やっぱり担い手がいるかいけないか。しっかりとした担い手がいるかいけないかということでございますので、担い手をこれから作っていくというのは、農政の重大な課題というふうには認識しております。

委員長 ; 他にありませんか。

(「なし。」という者あり)

委員長 ; 他にありませんので、質疑なしと認め、質疑を終結いたします。本件に対する討論はありませんか。4 番委員。

4 番委員 ; 4 番委員の水野です。議第 2 号 恵那市非常勤特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について、反対の立場で討論いたします。農業協同組合法が平成 27 年 8 月 28 日に改正されたことにより、農業委員会等に関する法律は農地等の利用の最適化、担い手への農地利用集積、集約化、遊休農地の発生防止、解消、新

規参入の促進、これを推進するためとして、農業委員会の業務の重点は、農地等の利用の最適化の推進であることを明確化のためとして、農業委員の選出方法を農業者からの選挙制と市町村長の専任制の併用から、市町村長の任命制に変更し農地利用最適化推進委員を新設したと農林省は言っております。全国段階には農業委員会ネットワーク機構を指定等の改正が行われ、平成28年4月1日から施行されました。改正農業委員会法は、旧法にあった農民の地位向上に寄与するためとされていた目的を削除して、農地の適正化、いわゆる大規模化の地ならし仕事だけに限ってしまいました。農業を大規模化、グローバル化と称して、金さえ儲ければ、自分さえ良ければ、今さえ良ければという誤った考え方で農地を二次産業と同じような金儲けの道具として農業は人間が生きていくために必須の食料を生産する尊い職業であり、農業委員会は農地を安全に確保、維持する地域にとって重要な組織であるという位置づけから遠く離れたものにしてしまったように思われます。その具体化がこの条例改正であります。農地の拡大に頑張った農業委員、職員には多く手当を支給すると金で人や農業者を支配する農民を馬鹿にする考え制度である。このような制度は規制改革の名のもとに、アメリカの巨大産業の言いなりに進められてきた政策の一つです。恵那市のような中山間地では、大規模化は簡単には進みません。恵那市では手当に差をつけないというその考えですが、そもそもこのナンセンスな今回の制度であることは、市がそのような配慮しなきゃならんということでも、これは証明されます。この制度については皆さんもそのまま簡単にうんとは言われなと思います。是非とも反対のご同意をお願いしたいと思います。

委員長 ; 他にありませんか。 5 番委員。

5 番委員 ; 5 番委員ですが、賛成討論をさせていただきます。今、いずれにしても農地の集約、特に恵那市のようなところは、小規模な農家ばかりでなかなか担い手もない。それから、そういう中で耕作放棄も進んでいっちゃつとると。何とか手を打たないといけないという中で、今一番の課題である農地集積の関係、あるいは遊休農地の発生防止の関係で、何か手はないかということで、一つは農業委員さんなんかそういうしっかり果たしてもらわなアカんですから、果たしてもらった場合には報酬を上乗せするよと、これも選択肢の一つで、いろんな方策が考えられる中での一つで、こういうことで政策としてやるということは、私はいいと思います。そういう理由で、私は賛成いたします。

委員長 ; 他にありませんか。

(「なし。」と言う者あり)

委員長 ; 他にありませんので討論を終結し採決を行います。

「議第 2 号 恵那市非常勤特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について」は原案のとおり可決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

(挙 手 多 数)

委員長 ; 挙手多数であります。よって、「議第 2 号恵那市非常勤特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について」は可決すべきものと決しました。

委員長 ; 次に、「議第 3 号 恵那市基金条例の一部改正について」を議題といたします。

本件に対する質疑を行います。ご質疑はありますか。4 番委員。

4 番委員 ; 基金はそれなりの大きなお金がいる時にということで積んでおいたものですが、恵那市においては未普及地、これは木の実がもう終わって当面ないというような話ですが、未普及地区というものはもう終わりましたでしょうか。ないですかね。

委員長 ; 上下水道課長。

上下水道課長 ; 未普及地につきましては、まだ明智の一部等々にございますけど、ちょっと今、詳細な資料を持っていませんが、まだ少しございます。

委員長 ; 他に。4 番委員。

4 番委員 ; そこはやろうとしておるのか、しないで放置するのか、未普及地については。それについての財政はどのように考えておるか、やる場合はね。

委員長 ; 上下水道課長。

上下水道課長 ; 建設ということは 28 年度の岩村、山岡で一通り終わったということで今までお話をさせていただきましたけど、未普及地につきましては、今後何らかの方法で検討して整備していきたいと思っておりますが、基金等については予定をしておりません。

委員長 ; 他に。4 番委員。

4 番委員 ; 全協でも出ておりましたけども、ライフラインのメンテということからいくと、老朽化について手立てを考えていかなければいけないですが、これについて特段にお金、基金で用意しておかなくても、それは別のほうで考えておることなのかどうか、そこをちょっとお伺いします。

委員長 ; 上下水道課長。

上下水道課長 ; 老朽管更新等の事業は、これからどんどんペースを上げていきたいというふうと考えておりますけど、その財源としては、国庫補助金等の補助金の活用と、あとは内部留保資金がございます。施設とか管の減価償却費を積み立てた内部留保資金を活用して整備をしていきたいと思っております。

委員長 ; 他にありませんか。

(「なし。」という者あり)

委員長 ; ご質疑なしと認め、質疑を終結いたします。本件に対する討論はありませんか。

(「なし。」という者あり)

委員長 ; 討論はありませんので、ただ今から採決を行います。

「議第 3 号 恵那市基金条例の一部改正について」は原案のとおり可決すべきものに賛成の諸君の挙手を求めます。

(全 会 一 致)

委員長 ; 全会一致であります。よって、「議第 3 号」は原案のとおり可決すべきものと決しました。

委員長 ; 次に、「議第 4 号 恵那市手数料条例及び恵那市消防関係手数料徴収条例の一部改正について(所管部分)」を議題といたします。本件に対する質疑を行います。ご質疑はありませんか。

(「なし。」という者あり)

委員長 ; ご質疑なしと認め、質疑を終結いたします。本件に対する討論はありませんか。

(「なし。」という者あり)

委員長 ; 討論はありませんので、ただ今から採決を行います。

「議第 4 号 恵那市手数料条例及び恵那市消防関係手数料徴収条例の一部改正について(所管部分)」は原案のとおり可決すべきものに賛成の諸君の挙手を求めます。

(全 会 一 致)

委員長 ; 全会一致であります。よって、「議第 4 号」は原案のとおり可決すべきものと決しました。

委員長 ; 次に、「議第 13 号 恵那市中小企業小口融資条例の一部改正について」を議題といたします。本件に対する質疑を行います。ご質疑はありませんか。2 番委員。

2 番委員 ; この恵那市の中小企業小口融資条例の一部改正ですが、これは国の法改正もあって、この 1,250 万円から 2,000 万円の融資の拡大ということでもありますけれども、これ中小企業については、ありがたい制度だと思いますけれども、昨年までの実績がわかれば教えてほしいのですか。利用状況。

委員長 ; 商工課長。

商工課長 ; 昨年、平成 28 年度の実績でいきますと、利用件数は 116 件の方が利用されています。

新規でございませぬが 116 件の方が利用されておられるということでございます。本年度、平成 29 年度まだ途中ではございますけれども、やはり同レベル。27 年度が 107 件でございしますので、大体 100 件ぐらいの方は、常に利用をされておられるというところでございます。

委員長 ; 2 番委員。

2 番委員 ; これ、全体的な枠というのは決められているのですか。

委員長 ; 商工課長。

商工課長 ; 全体枠は、総融資の総枠といたしまして、5 億円の中で貸し付けを行っております。

委員長 ; 2 番委員。

2 番委員 ; 心配なのは金利なんですけれども、この融資枠が 2,000 万円になったということで金利も上がるということはありませんか。

委員長 ; 商工課長。

商工課長 ; 金利自体が今上がるというものでございませぬ。信用保証料という部分につきまして、市のほうで補給をさせていただいております。利息のほうは変更ございませぬ。

委員長 ; 2 番委員。

2 番委員 ; 保証料は市のほうでつという。これは岐阜県の保証協会が保証するというふうに思っていますけれども、それでよろしいですか。

委員長 ; 商工課長。

商工課長 ; この小口融資制度につきましては、岐阜県の信用保証協会さんが保証しまして、その保証料の 1 年分につきましては、市のほうでこの補給金を補填しております。

委員長 ; 2 番委員。

2 番委員 ; 岐阜県の保証協会、つい最近まで私の友達が理事長をしまして、ちょっと恵那市の利用度が少ないので一生懸命何か PR してくれというような話を聞いていましたので、今後この制度を PR することをしてほしいんですが、どのような方法で PR されるのか、お聞きします。

委員長 ; 商工課長。

商工課長 ; 小口融資制度につきましては、市内の金融機関さん、十六銀行さん、大垣共立銀行さん、岐阜信用金庫さん、そして東濃信用金庫さん、それぞれが融資を行っております。これを集約しまして市のほう全体での集計ということになっておりますけれども、そちら各金融機関さんを通じまして、中小企業さん、そして当然ながら商工会、また商工会議所さんもこれは関係してまいりますので、そちらを通じて PR は

今後も図っていきたいと思っております。

委員長 ; 他にありませんか。4番委員。

4番委員 ; 今の話に関連してですけど、恵那市は100件程度やったら、他の町と比べてどんな具合なのか。業者、例えば1万社の内にどれぐらい利用しているかとか。中津はどれくらいだとか。その対比等のデータは取っているかどうか。こちらの主旨はもっと大勢の人が使えるようにできんかと。恵那市として頑張らなきゃいかんやないかという意味で指摘をされたと思うけども、今の答弁で見ると金融機関に任せてあるでと。ただ事務作業をやっているだけという答弁ですと、とても残念に思うわけだけど、この100というデータはどうなのか。全県下から見て、近隣地域から見て。それについてはデータで把握はしていませんか。

委員長 ; 商工課長。

商工課長 ; 詳細なものは持っておりませんが、多治見市及び土岐市においてはこの小口融資について実績はあまりないというふうに聞いております。これは県のほうの融資を利用されているということを聞いておりますので、そういう情報を得ております。恵那市につきましては、この間100件ほどの方が常に利用されておりますし、利用率も総融資枠の8割程度ぐらいまで行っておりまして、比較的利用は進んでいるのではないかと分析をしております。

委員長 ; 4番委員。

4番委員 ; 今回の条例改正についてお伺いしますが、寡夫が記入されたこの理由はどういうことなのか教えて下さい。

委員長 ; 商工課長。

商工課長 ; 今回、国のほうの制度改正に伴いまして、上限額が引き上げられました。よって、それに伴いまして上限額、特に今までの貸付限度額1,250万円から2,000万円に引き上げるなどの主旨。もう一つは貸付期間を96ヵ月から120ヵ月に延長するというようなものが主なものでございます。より利用しやすいように、そして利用する場合の上限が増えるということによって、今後とも中小企業支援には役立つものと考えております。

委員長 ; 他にありませんか。

(マイクオフ：何か言うものあり)

委員長 ; まず4番委員、関連で先に。はい、4番委員。商工課長。

商工課長 ; これは利用条件を緩和するものでございまして、または文言の整理を一部させていただいておりますので、その部分の内容になっております。

委員長 ; 4 番委員、よろしいですか。はい、5 番委員。

5 番委員 ; ちょっと確認ですけれども、この小口融資予算的には 30 年度 1 億円で出てきている、
このことでしょうか。

委員長 ; 商工課長。

商工課長 ; 新年度予算で貸付預託金として 1 億円で計上させていただいているものでございます。

委員長 ; 5 番委員。

5 番委員 ; 先ほど 5 億円ほどという話は別の話なんですね。それと利用件数 116 件あるという
話ですけれども、これらについて、今の予算的に 1 億円の貸付枠があるんやけど、
その中での話なのか、116 件というのはまた違う話なのか、ちょっとそこら確認を
させてもらいたい。

委員長 ; 商工課長。

商工課長 ; 市のほうから 1 億円を各金融機関さん、それぞれ金額はあるんですけども、こち
らへ預託金として一旦お預けをいたします。それを 5 倍の協調融資ということで、
5 倍の総額まで各金融機関さんにおいて貸し付けを行っていただきたいという協定
を毎年結んでおります。よって、1 億円に対しまして 5 倍ということで、今 5 億円
の総枠を用意しております。その中で利用されている方が昨年でいきますと 116 件
の事業者さんが利用されているというところでございます。

委員長 ; 他にありませんか。4 番委員。

4 番委員 ; 小口融資は分かりましたんですが、関連して…。後で、予算の方で言います。

委員長 ; ご質疑なしと認め、質疑を終結いたします。本件に対する討論はありませんか。
(「なし。」という者あり)

委員長 ; 討論はありませんので、ただ今から採決を行います。

「議第 13 号 恵那市中小企業小口融資条例の一部改正について」は原案のとおり
可決すべきものに賛成の諸君の挙手を求めます。

(全 会 一 致)

委員長 ; 次に、「議第 14 号 恵那市都市農村交流促進施設条例の一部改正について」を議題
といたします。本件に対する質疑を行います。ご質疑はありませんか。4 番委員。

4 番委員 ; これは説明によりますと、永田のアグリパークの施設のほうのようですが、ここに

は市民農園があると思いますが、これとの関連はどうなりますか。

委員長 ; 農政課長。

農政課長 ; 市民農園のほうは今までアグリパーク恵那総合管理センターのほうで管理をしていただいております。このことについては今回、地元の方に移管ということになりますので、その事務は市役所のほうへ持ってまいりまして管理をさせていただきたいというふうに思っております。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; アグリパークの管理運営については、市役所のほうでこれから窓口業務っていうか、それをやりますよというふうになるわけですね。

委員長 ; 農政課長。

農政課長 ; 市民農園につきましては、市役所のほうで行うということで予定しております。

委員長 ; 他にありませんか。

(「なし。」という者あり)

委員長 ; ご質疑なしと認め、質疑を終結いたします。本件に対する討論はありませんか。

(「なし。」という者あり)

委員長 ; 討論はありませんので、ただ今から採決を行います。

「議第 14 号 恵那市都市農村交流促進施設条例の一部改正について」は原案のとおり可決すべきものに賛成の諸君の挙手を求めます。

(全 会 一 致)

委員長 ; 全会一致であります。よって、「議第 14 号」は原案のとおり可決すべきものと決しました。

委員長 ; 次に、「議第 15 号 恵那市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について」を議題といたします。本件に対する質疑を行います。ご質疑ありませんか。

(「なし。」という者あり)

委員長 ; ご質疑なしと認め、質疑を終結いたします。本件に対する討論はありませんか。

(「なし。」という者あり)

委員長 ; 討論はありませんので、ただ今から採決を行います。

「議第 15 号 恵那市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について」は原案のとおり可決すべきものに賛成の諸君の挙手を求めます。

(全 会 一 致)

委員長 ; 全会一致であります。よって、「議第 15 号」は原案のとおり可決すべきものと決しました。

委員長 ; 次に、「議第 19 号 恵那市雇用促進住宅駐車場条例の廃止について」を議題といたします。本件に対する質疑を行います。ご質疑はありませんか。4 番委員。

4 番委員 ; 全国雇用促進住宅が民間に渡すというふうなことから、この西日本の分を民間に売ったわけですが、山岡には駐車場があるわけですが、そもそも雇用促進住宅を山岡が誘致するについて、町のほうで駐車場を用意したということでの経過だと思いますが、今回、その業者が住宅そのものを民間が買ったということで、契約方法が変わってくるわけですが、利用者がたしか 3 人か 4 人ぐらいしかいらっしやらないと思うんですけど、この相手との交渉、料金設定とか請求先、それらについてはどんなふうな、なかなか大きな会社でよくははっきりわからんような感じもするわけですが、相手先はどこになるわけですか。

委員長 ; 都市住宅課長。

都市住宅課長 ; 相手につきましては、運営を担当しておりますレジデンシャルサービスジャパン株式会社になります。交渉については、今年度に入って 3、4 回行っておりまして、駐車場のほうを継続的に利用したいというところで賃貸について協議を行っているところです。額については、今現在詰めておるところでございます。駐車場を利用してみえる方については、その旨をお話しさせていただいておりますし、10 年間今後利用継続できるというふう聞いておりますので、今後は、運営会社と現在借りてみえる方が契約されるのではないかというふうに考えております。

委員長 ; 他にありませんか。4 番委員。

4 番委員 ; もう 3 月だけど、今月中にも契約できるわけかね。

委員長 ; 都市住宅課長。

都市住宅課長 ; 契約に向けて、今週、来週等に協議を行って額のほうを詰めていきたいというふうに考えております。

委員長 ; 他にありませんか。

(「なし。」という者あり)

委員長 ; ご質疑なしと認め、質疑を終結いたします。本件に対する討論はありませんか。

(「なし。」という者あり)

委員長 ; 討論はありませんので、ただ今から採決を行います。

「議第 19 号 恵那市雇用促進住宅駐車場条例の廃止について」は原案のとおり可

決すべきものに賛成の諸君の挙手を求めます。

(全 会 一 致)

委員長 ; 全会一致であります。よって、「議第 19 号」は原案のとおり可決すべきものと決しました。

委員長 ; 次に、「議第 23 号 市道路線の認定について」を議題といたします。本件に対する質疑を行います。ご質疑はありませんか。2 番委員。

2 番委員 ; 市道路線の認定についてですが、過去 9 年間、この認定漏れという説明でありますけども、その 9 年前というね、やはり道路ではなかったものを、道路を作ったということで認定をしてもらいたいということであると思うんですけども、ちょっと説明が申し訳ありません、わかりませんが。これもともと道路がなかったものを、道路を作ったということですかね。それ以前は 9 年前、どのような状況なんですかね。

委員長 ; 建設部次長。

建設部次長兼建設課長 ; 平成 21 年 3 月の一括認定一括廃止の前の状態では、恵那市の道路として認定がしてございました。それを一括廃止一括認定の時に認定する時に落としたということであります。現況も道路として機能してございました。

委員長 ; 2 番委員。

2 番委員 ; これ 43 メートルということですが、何事もなかったのでは良かったというふうに思うんですけども。この周辺の人たちが家を建てようと思うと確認申請を取るのに市道から約 35 メートル接しないと、なかなか確認申請は取れないというふうにあります。そのようなこともなくて 9 年間来たということによろしいですか。

委員長 ; 建設部次長。

建設部次長兼建設課長 ; この道路に接続している家屋は 4 件ございますが、この道路だけに接続している家屋は 2 件です。1 番奥の終点付近で 2 件となります。この 2 件に関しましてはこの 9 年間にそういった確認申請が必要であった事例は確認をいたしておりません。

委員長 ; 他にありませんか。

(「なし。」という者あり)

委員長 ; ご質疑なしと認め、質疑を終結いたします。本件に対する討論はありませんか。

(「なし。」という者あり)

委員長 ; 討論はありませんので、ただ今から採決を行います。

「議第 23 号 市道路線の認定について」は原案のとおり可決すべきものに賛成の諸君の挙手を求めます。

(全 会 一 致)

委員長 ; 全会一致であります。よって、「議第 23 号」は原案のとおり可決すべきものと決しました。

委員長 ; 次に、「議第 24 号 東濃農業共済事務組合規約の一部改正について」を議題といたします。本件に対する質疑を行います。ご質疑はありませんか。
(「なし。」という者あり)

委員長 ; ご質疑なしと認め、質疑を終結いたします。本件に対する討論はありませんか。
(「なし。」という者あり)

委員長 ; 討論はありませんので、ただ今から採決を行います。
「議第 24 号 東濃農業共済事務組合規約の一部改正について」は原案のとおり可決すべきものに賛成の諸君の挙手を求めます。

(全 会 一 致)

委員長 ; 全会一致であります。よって、「議第 24 号」は原案のとおり可決すべきものと決しました。

委員長 ; 次に、「議第 26 号 平成 29 年度恵那市一般会計補正予算（第 6 号）（歳入歳出所管部分）」を議題といたします。なお、委員会における予算審議、質疑につきましては「平成 29 年度 3 月補正予算 恵那市予算資料」を中心に行いますので、よろしくお願いいたします。本件に対する質疑を行います。ご質疑はありませんか。4 番委員。

4 番委員 ; 7 ページ、予算資料のほうで、歳入の分担金、農地費分担金、県営事業分担金、減額の理由は。そして県営ため池増額の理由、その二つについて教えてください。

委員長 ; 農政課長。

農政課長 ; 地元負担金の補正につきましてご説明をいたします。県営中山間地域総合整備事業分担金でございますが、現在、恵那北部地区と恵那南部というこの二つの事業が動いております。具体的に言いますと恵那北部は笠置山の栗園の整備、それから山本用水、恵那南部においては明智、串原、上矢作というこの 3 町が取り組んでいただいております。中でも恵那南部につきましては、当初予算が 1 億 2,000 万円の事業費に対しまして、実績としまして 5,250 万円ということでございまして、事業費でいきますと 6,750 万円の減ということです。5 % の地元負担金ということですので、うち 5 % 分 337 万 5,000 円の減となっております。あと、県営ため池整備というこ

とでございまして、今現在、御屋敷ため池、これは山岡町にございますが、もう一つは見戸ため池、これが笠置にございます。この2事業を行っていただいております、その事業につきまして、当初予算が2,000万円という事業でございましたが、実績として1億ということでプラス8,000万円いただいております。その負担金ということでプラスの200万円、差し引きで133万9,000円の減ということでございます。以上です。

委員長 ; ほかにありませんか。1番委員。

(マイクオフ:「支出もいいですか。」「支出もいいです。」)

1番委員 ; 予算資料の11ページ、リニアまちづくり事業ですけど、付け替え道路の委託料の減額ということで3,000万円ほど、ボーンと減っていますが、例えばそこがリニアの事業計画の中でしっかり動いてないというか、進んでないのが理由で、仮に例えば減ったとしても、ほかに何かよそでやれるようなところはないのかなというふうに思うんですけど、これどんどん次年度次年度で回して行っちゃうと、恵那市で動いとる状況っていうのは何か余り見えてこないのかなと思うんですが、その辺ってどうでしょう。

委員長 ; リニアまちづくり課長。

リニアまちづくり課長 ; 今回の減額は、測量設計費用の減額であります。今回の該当当初予定していた箇所につきましては、J R 東海さんによる道路が分断されることに伴う、付け替え道路の設計を予定させていただいております。ただ、J R 東海さんのほうの事業の進捗が、今年度その段階まで至らなかったというところでございます。ほかのところにつきましては、J R 東海さんのほうで、計画のとおり付け替え事業の設計等は進めておられる箇所もございます。ただ、市が設計をするという箇所は、今回当初予算組みましたその箇所を予定しておりましたことから、この部分が進まなかったということで、ほかに回す箇所もございませんでしたので、今回これは減額させていただくことになります。これをよそに回すということも今おっしゃられましたけれども、これJ R 東海さんの進捗とどうしても合わせなければならないところをやっておりますので、今回のこのような、減額というふうにさせていただきました。

委員長 ; 4番委員。

4番委員 ; 歳入のほうですが、7ページ国庫支出金、商工費補助金2,220万円、社会資本整備費としてですが、どこの部分のどのような事業なのかちょっとお伺いします。

委員長 ; 観光交流課長。

観光交流課長 ; この事業につきましては、当初見込んでおった交付金の額の精算がまいりました結

果、一部こちらのほうに充当したということになりますので、事業費全体の事業内容は変わっておりません。今の事業内容のところにプラスしていただいたというような形でございます。以上です。これ、恵那峡になります。恵那峡の再整備事業の全体枠の中に充当してありますのでお願いします。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; 沢山もらえてありがたかったというふうな理解をすればええわけね。次 8 ページ県補助金、農業費補助金マイナス 1,167 万 2,000 円補正となった、精算っていうことがあるかもしれませんが、この理由を聞かしてください。あと二つ目、全体としてこれはこうなったのは国県の支援が消化できなくなったのか、地元とかいろいろ都合でそうなのか、このような問題についてはしっかり地元との協議ができているかということなんかについてもちょっとお伺いしたいわけですが、お伺いいたします。

委員長 ; 農政課長。

農政課長 ; この事業につきまして主には、経営体に対する補助金が主なものになっております。補助金自体はかなり細かいものがございまして例えば、農業 6 次化促進支援事業ということで、185 万円が減額になっております。これは減額というのは、申請者が取り止めたということがございます。続きまして、経営体育成支援事業ということでこれは農業機械を購入する補助金になっております。4 団体が申請をしていただきましたが、一部お認めいただいたわけですが、ほかの機械につきまして、採択ならなかったということで、681 万 9,000 円ほど減額になっております。あと中山間地域等直接支払交付金でございますが、これも当初予定しておりました 1 億 7,312 万 7,000 円が実績といたしまして、144 万 3,000 円ほどの減額ということになっております。多面的機能支払交付金というのがございますが、これも実際に国のほうが採択をしていただいておりますが、要望額に対して実績額が入ってきてないということでここが 874 万 5,000 円の減額ということになっております。あと経営所得安定対策推進事業費補助金ですが、これは恵那市の再生協議会が運営しております補助金が当初 1,500 万円というものが実績といたしまして 1,141 万 2,000 円、358 万 8,000 円の減額になっております。元気な農業産地構造改革支援事業ということで、これは当初 65 万 1,000 円が実績といたしますゼロ円ということになっております。あと小規模農家組織化支援事業ということで、これは実際お認めいただきまして、6 営農組織が機械を購入されたということで、これは 1,064 万 7,000 円の増額になっております。あと青年就農給付金、これも増額になっております。担い手経営発展支援事業ということで、これは 160 万円減になっています。これは法

人化の組織がなかったということでございます。機構集積協力金ということで、先ほどの農地中間管理事業通じていただいたことに対しての補助金が100万円ほどいただいております。増額となっております。トータルいたしまして1,167万2,000円の減額ということになっています。以上でございます。

委員長 ; 4番委員。

4番委員 ; お伺いすると、大きな山はちょっとえらいけど、細かいものはそれなりに対応できるというふうな状況で、恵那市の農政を取って付けた補助金の消化状況というふうに理解をしたわけですが、これからいろいろ事務も大変ですけども、きめ細かな対応をお願いしたいと思います。同じような考えとして、林業費の補助金マイナス2,871万円、これについてはどのような状況なのか。農業費と同じような格好でお伺いですけど、分かる範囲で結構でございますけど、お願いします。

委員長 ; 林政課長。

林政課長 ; 減額についてお答えさせていただきます。林業費補助金ですけども、これは説明のところに書いてございます、松くい虫被害木の駆除促進事業費補助金ですけども、そちらにつきましては生涯学習課のほうの担当ですけど、県の予算の配分が少なかったということで109万5,000円ほどの減額となっております。あと産直住宅普及活動支援事業補助金につきましては、事業がなかったということで減額しております。有害鳥獣駆除捕獲補助金につきましては、これは当初、有害鳥獣の駆除の奨励金が市のほうへ払われて、それから猟友会のほうへ払うということになっておりましたけども、市を介さずに直接、有害鳥獣対策協議会のほうへ振り込まれるということで、635万8,000円ほど減額しております。続きまして、清流の国ぎふ森林・環境基金事業費補助金、こちらにつきましても、当初予定しておりました事業費の補助金が県の予算の配分がなかったということで、事業費のほう圧縮させていただいたというものです。こちらのほうが205万4,000円の補正となっております。最後に造林補助金ですけど、こちらは搬出する間伐ですけども、そちらのほうも当初予算を予定していました補助額よりも県の予算配分が非常に少なかったということで、これも事業圧縮したということで833万3,000円の減額となっております。以上です。

委員長 ; 4番委員。

4番委員 ; 林のほう本当に悩みが、課題が大きいわけですけども、また、よろしくお願ひしますし、また造林について大きく減ったと、県の配布が少ないということについては県のほうも要請をしていかないかんと思っておりますが、わかりました。同じく8

ページで県委託金リニア用地取得 1,088 万 1,000 円予算化されていたわけですが、この予算化していた内容、どういうものを予算化してあるのか、用地取得。

委員長 ; リニアまちづくり課長。

リニアまちづくり課長 ; これは、県が J R 東海から用地取得の業務委託されておられます。そのうちの一部をまた、市町村のほうに委託しております。これは何かと申し上げますと、用地の説明であつたり、土地の境界立ち会い、用地交渉、この部分は県の職員とともに一緒に行うという部分は委託されております。29 年度におきましては、恵那市内におきまして、そこまでの状態に用地交渉、用地説明会までに至らなかったという状況でございまして、この部分の委託金が発生せず、減額するものでございます。

委員長 ; 4 番委員よろしいですか。

(「はい」)

委員長 ; ほかにありませんか。4 番委員。

4 番委員 ; 歳出のほうですけど、総務費の 10 ページ。歳出の総務費、基幹交通対策事業費自主運行バス交通総合化対策費 640 万円マイナスの理由。それから有償運送マイナス 233 万円。この理由を教えてください。

委員長 ; 観光交流課長。

観光交流課長 ; 基幹交通対策事業費につきましては、私のほうでお答えしますが、申し訳ございません。地域交通網の対策事業費につきましては、こちらは総務文教委員会の担当になりますのでお願いいたします。自主運行バスの補助金の減でございしますが、こちらは精算による交付金の減になります。以上です。

(マイクオフ ; 「何で精算が出てきた」という声あり)

委員長 ; 観光交流課長。

観光交流課長 ; 自主運行バスの運行補助というのは、10 月から 9 月 30 日までということになっておりまして、今回、精算というのが 28 年の 10 月から 29 年の 9 月 30 日までの精算ということになります。精算させていただきましたところ、予算のほうが減額する対象になったということですが、運行距離と収支の関係で、マイナスになってくるという形になります。以上です。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; どれくらいまで発生したかを教えてください。

委員長 ; 観光交流課長。

観光交流課長 ; 串原につきましては、バスを 1 台減らして回しておりますので、4 月から回しましたのでそちらの減になります。もう一つが大きいものにつきましては、恵那と明智

のほうで自主運行バスを運行しております東鉄バスのほうの単価が少し上がるかというふうでお話をさせていただいておりましたが、そちらの見込みが、単価が上がらなかったということと、実際に乗っていただく方が若干増えたというようなことが理由だと思っております。以上です。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; 東鉄バスさんが協力していただいて、値上げはちょっと躊躇したかどうか知らんけど少なかったということで、見込み違いというか、マイナスに出たということではないことだとは思いますが、次に 11 ページ、先ほど出ておりましたけど、リニアまちづくり事業費 3,110 万円についてですが、野尻・野畑、旭ヶ丘ここらあたりだと思いますが、予定していた場所は、この 2 箇所ですか。そこだけちょっとお伺いします。

委員長 ; リニアまちづくり課長。

リニアまちづくり課長 ; この予算で予定しておりましたのは野尻・野畑地区の市道に対してでありまして、旭ヶ丘地区については J R 東海さんのほうで進めるという箇所で、予定しております。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; 旭ヶ丘のほうについては恵那市としての予算化進むべきことはない。全て J R 東海のほうで対応するというので、進めるわけですか。

委員長 ; リニアまちづくり課長。

リニアまちづくり課長 ; 本来付け替えというのは原因者であります J R 東海が自分で行うというものでございます。今回ここで予算計上いたしました野尻・野畑地区の市道につきましては、単なる付け替えのみならず、地区の道路網をもう少し利便性を向上させたいと、こういう意味で市のほうが何とか主導して行いたいという思いで予算を組んでおります。ただこの箇所については先ほど説明しましたように、まだその段階に至らなかったということで減額するものでございます。旭ヶ丘については、先ほど申しました原因者である J R 東海で設計を行うというところで、恵那市のほうと協議しながら行う、こういう形をとっております。

委員長 ; ほかにありませんか。 4 番委員。

4 番委員 ; 商工費、企業誘致の中で 1,910 万円、この中身はなんでしょうか。お伺いします。それから、商工振興費で工業用水がマイナス 6,000 万円、この設計委託料、これについてお伺いいたします。

委員長 ; 商工課長。

商工課長 ; 14 ページ、商工費の中の企業誘致推進事業費でございます。全体で 1,910 万円の減額になっております。内訳といたしましては、リニア関連の工業団地として大井町岡瀬沢地区の工業団地の概略設計を予定しておりましたが、本年度その実施ができなかったということで 330 万円の減。あとは工業適地調査を予定しておりましたけれども、これも必要なかったということで 300 万円の減。あとサテライトオフィス事業を実施しておりますが、本年度改修を行いませんでした。大井町の賃貸物件を利用できたということもございまして、これで 380 万円ほどの減をしております。あと工事費のほうで工事請負費 100 万円ほどの減。そして負担金補助及び交付金ということで、これは企業立地奨励金の総額が 1 億 3,500 万円ほどの予定だったものを、1 億 2,700 万円ほどになるだろうというところで 800 万円の減額予算を入れさせていただきました。トータルとして 1,910 万円の減額をお願いするものでございます。続きまして、商工振興事業費につきましては、工業用水導入路測量設計委託料の減でございます。これは恵那市工業用水、新町用水を利用した工業用水でございますが、これの設計委託を当初予定しておりましたけれども、設計委託まで事業が至らなかったということで、今回 600 万円を減額させていただくものでございます。以上でございます。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; とりあえずお聞きますが、商工振興の今の新町用水、どういうふうにするつもり、目的は。

委員長 ; 商工課長。

商工課長 ; 新町用水事業につきましては、下流域へ延伸を行いまして、それを企業さんのほうへ通水、給水をするという計画で現在事業を進めさせていただいております。地元自治会さんと企業さんと今協議、調整を行っている次第でございます。以上でございます。

委員長 ; 他にありませんか。

(「なし。」という者あり)

委員長 ; ご質疑なしと認め、質疑を終結いたします。本件に対する討論はありませんか。

(「なし。」という者あり)

委員長 ; 討論はありませんので、ただ今から採決を行います。

「議第 26 号 平成 29 年度恵那市一般会計補正予算(第 6 号)(歳入歳出所管部分)」
は原案のとおり可決すべきものに賛成の諸君の挙手を求めます。

(全 会 一 致)

委員長 ; 全会一致であります。よって、「議第 26 号」は原案のとおり可決すべきものと決しました。

委員長 ; 次に、「議第 29 号 平成 29 年度恵那市農業集落排水事業特別会計補正予算（第 4 号）」を議題といたします。予算資料の 24 ページをお願いいたします。本件に対する質疑を行います。ご質疑はありませんか。

（「なし。」と言う者あり）

委員長 ; ご質疑なしと認め、質疑を終結いたします。本件に対する討論はありませんか。

（「なし。」と言う者あり）

委員長 ; 討論はありませんので、ただ今から採決を行います。

「議第 29 号 平成 29 年度恵那市農業集落排水事業特別会計補正予算（第 4 号）」は原案のとおり可決すべきものに賛成の諸君の挙手を求めます。

（全 会 一 致）

委員長 ; 全会一致であります。よって、「議第 29 号」は原案のとおり可決すべきものと決しました。

委員長 ; 次に、「議第 30 号 平成 29 年度恵那市公共下水道事業特別会計補正予算（第 4 号）」を議題といたします。予算資料の 25、26 ページをお願いいたします。本件に対する質疑を行います。ご質疑はありませんか。4 番委員。

4 番委員 ; 25 ページ歳入、諸収入 2,386 万円。内容を見込んでおったのか。なぜそれが減額になったのか、お伺いします。

委員長 ; 上下水道課長。

上下水道課長 ; 諸収入の雑入でございますけど、県が国道 418 号線のバイパス工事と県道豊田明智線の道路改良工事を翌年度へ見送ったことと、あとはリニア中央新幹線に係る事業計画変更と管渠基本設計ができなかったため補償費の減額となっております。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; それぞれに親元の事業が遅れておるとのことのようですが、リニアについてはいつ頃発生するかとの話なんかは、ＪＲ東海は言ってきておりますか。

委員長 ; 上下水道課長。

上下水道課長 ; リニアに関しては、リニアまちづくり課と調整連絡を図りながら事業進捗を見て、こちらの対応をしていきたいと思っております。今後の予定は伺っておりません。

委員長 ; ほかにありませんか。

（「なし。」という者あり）

委員長 ; ほかにありませんので、質疑なしと認め、質疑を終結いたします。本件に対する討論はありませんか。

（「なし。」という者あり）

委員長 ; 討論はありませんので、ただ今から採決を行います。

「議第 30 号 平成 29 年度恵那市公共下水道事業特別会計補正予算（第 4 号）」は原案のとおり可決すべきものに賛成の諸君の挙手を求めます。

（全 会 一 致）

委員長 ; 全会一致であります。よって、「議第 30 号」は原案のとおり可決すべきものと決しました。

委員長 ; 次に、「議第 32 号 平成 29 年度恵那市水道事業会計補正予算（第 3 号）」を議題といたします。予算資料の 28 ページをお願いします。本件に対する質疑を行います。ご質疑はありませんか。4 番委員。

4 番委員 ; 28 ページ 1 番下、貸付金、土地開発公社貸付金の減、申し入れがないということですが、これはこの申し入れは今後あるのかどうなのか。ここんところはどのようなのか教えてください。

委員長 ; 商工課長。

商工課長 ; これは恵那西工業団地事業に伴いまして、この事業自体は土地開発公社で実施をしております。事業費の借り受け先として、こちらの水道事業のほうへお借りをするという内容になっております。事業につきましては、現在、進めておりますが、今後、新年度に入りまして事業の内容、進捗状況によりまして、発生する可能性というものは大いにあります。逆に言うと発生をさせて頑張りたいと思っております。以上でございます。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; 頑張りたいという状況だけでそういうまだ、科学的な裏づけというか、はっきりと法律にするという日程もまだわからないと。とにかくやってみたところと。そういうふうな状況を見て判断すると。そのときに資金需要はどうする。その時になってから考えるということなのか、もう来年度からこの予算を繰り越しして、振り当てするのか。そのところについてちょっとお聞かせください。

委員長 ; 商工課長。

商工課長 ; 事業自体は現在、汚染物質の除去についての対策を今現在っております。これの

終結をまず図ることが第一条件であるというふうに現在考えております。新年度におきまして、この部分が解決をし事業が進むことになると、こちらの貸付金が発生してくると思っております。金額につきましては、上下水道課長のほうへお願いをしたいと思います。

委員長 ; 上下水道課長。

上下水道課長 ; 予算につきましてはこの減額の 9 億 3,620 万円につきまして、新年度で予算計上させていただきます。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; そのような計画は商工の方にですけども思いを聞いておりますが、具体的にもスケジュールはもうそろそろ出てこんかね。いつ頃だったらこういう返事ができるとか、いつなら協議にはいれるとか、その進捗について。

委員長 ; 副市長。

副市長 ; 土地開発公社の理事長ですのでお答えします。ヒ素と鉛の量が確定しましたので、除去するという方向で今考えております。土地の所有者であるヤマギシさん、これの全部撤去はヤマギシさんの責任でやっていただくことになりますので、その辺の対応を今交渉中でございます。ヤマギシさんとしてもやっていただけるような方向になると思いますので、また工業団地の積極的な推進に向かっていきますので、よろしくお願い致します。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; 一部、そのような話もありましたが、そこのほうでどこやかやとるところみたいね。銭ないでとにかく頼まなていう話で、いかずにちゃんと費用は、地権者、地主のほうで対応できるかどうか、体力のほうはどうなるかと。そちらのほうも心配する声がありますけども、そこについてはどうですかね。

委員長 ; 副市長。

副市長 ; そこも含めて、しっかり対応できるように、ヤマギシさんと話しています。できなければどうするか。いうことも検討しておりますので、よろしくお願いいたします。

委員長 ; ほかにありませんか。4 番委員。

4 番委員 ; でできなかったらどうするかということまで含めて検討している状況なわけですね。わかりました。工業団地については、今度、瑞恵もかかったし、それなりの期待する土地でもあるもんだから、何とかええふうにいけると思うが、なかなかこの地域は美濃帯といって、地中に置いておけばいいけど、掘ると酸化しておぞい物が出てくるというようなところだもんだから、取り扱いに十分注意しなきゃならないと思

ますけど、よろしくお願いします。

委員長 ; ほかにありませんか。

(「なし。」という者あり)

委員長 ; ご質疑なしと認め、質疑を終結いたします。本件に対する討論はありませんか。

(「なし。」という者あり)

委員長 ; 討論はありませんので、ただ今から採決を行います。

「議第 32 号 平成 29 年度恵那市水道事業会計補正予算 (第 3 号)」は原案のとおり可決すべきものに賛成の諸君の挙手を求めます。

(全 会 一 致)

委員長 ; 全会一致であります。よって、「議第 32 号」は原案のとおり可決すべきものと決しました。中途ではございますが、ここで 10 分の休憩をとります。

(午前 10 時 12 分休憩)

(午前 10 時 22 分再開)

委員長 ; それでは休憩前に引き続き委員会を開催いたします。

次に、「議第 35 号 平成 30 年度恵那市一般会計予算 (歳入歳出所管部分)」を議題といたします。なお、当初予算の内容は大変広範囲でありますので、質疑答弁は簡潔とし、事前に配布しております「質疑区切り表」に合わせて質疑をしていただくよう、ご協力をお願いいたします。

委員長 ; まず、歳入から行います。予算資料 16 ページから 20 ページまでの歳入 (所管部分) について、ご質疑はありませんか。4 番委員。

4 番委員 ; 今回は、補正でマイナスにしたものは今回こっちに入っているという部分もあるかと思いますが、17 ページの分担金、農地費分担金、これについての内容どういふものなのか教えてください。

委員長 ; 農政課長。

農政課長 ; ここの農地費分担金でございますが、ここは基盤整備の事業にかかる分担金でございます。一つ目が、県単のかんがい排水分担金ということで三郷用水、大湯用水ということで 2 カ所予定しております。180 万円を予定しております。市単かんがい排水分担金ということで 5 カ所事業を行うという予定をしておりまして 150 万円。それと県営中山間地域総合整備事業分担金ということで新たに岩村、山岡地区が加

わりまして、合計で 452 万 5,000 円の分担金でございます。県営ため池総合整備事業分担金ということで御屋敷ため池、見戸ため池、新たに蔵王田ということでこの 3カ所を予定しております。それが 131 万 3,000 円ということです。もう一つが美濃東部区域農用地総合整備分担金ということで 800 万円程度。県営経営体育成基盤整備分担金ということで、明智の小泉になりますがほ場整備をやっております。工事としては最終年度でございますが 435 万 8,000 円の分担金ということです。合わせまして、2,153 万 4,000 円の分担金ということです。以上でございます。

委員長 ; 歳入ほかにありませんか。4 番委員。

4 番委員 ; 負担金、総務管理費負担金、リニア派遣職員、何人分ですか。業務はどのような業務をされるんですか。

委員長 ; リニアまちづくり課長。

リニアまちづくり課長 ; リニアの派遣職員 2 名分でございます。業務については用地取得のための土地の鑑定であったり、物件補償、そして用地交渉、あと契約こういう業務を行うものでございます。以上でございます。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; これによって得られる、派遣して向うから情報が市のほうへも当然くると、出入り。毎日、そういうふうに考えておけばよろしいですか。

委員長 ; リニアまちづくり課長。

リニアまちづくり課長 ; 派遣させていただいております。常に情報交換しながら、用地のお話を進めておるということで共有させていただいております。以上です。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; 使用料、住宅使用料。

委員長 ; ページ数は。

4 番委員 ; 同じく 17 ページ、家賃の見直しはどうですか。盛んに最近そういう生活保護が切り捨てで、遮られて、だから厳しくなっているという状況であります。生活保護の方も利用されておるのか。それについて特別な配慮をしてあるかどうか、お伺いいたします。

委員長 ; 都市住宅課長。

都市住宅課長 ; 住宅の家賃につきましては、公営住宅法第 16 条第 2 項の規定に基づいて、毎年 1 戸ごとに見直しを行っております。これは収入申告をしていただきまして、その年の家賃のほうを決めております。それから生活保護者につきましては、全体で 19 名の方が、今、住宅のほうに入っておられます。それから、優遇措置につきまして

は、市営住宅条例の第6条第1項の規定の中で、本来は世帯の入居となっていますが、生活保護の方については单身でも入居できるような配慮がなされております。それから入居募集の時に、実際に応募のほうが多かった場合については選考委員会を開催し、選考項目の中に生活保護者についての配慮を点数化しております。以上が優遇条件になります。

委員長 ; 4番委員。

4番委員 ; 今度手数料ですが、清掃手数料。これは去年より1割ほど減っていますが、やっぱり減量による効果というふうに見ればいいわけですか。

委員長 ; 環境課長。

環境課長 ; 清掃手数料の減額につきましては、ごみ袋の販売額が減少することによって、1,134万円ほど、また、し尿処理券の販売料も減額するということで220万円ほどを見込んだ減額でございます。こちらにつきましては販売量が減る、ご使用になられるごみ袋の数が減っていくという想定でございます。生ごみの水切りですとか、雑紙の分類、こちらによってごみの減量化が進んでいる。あわせて市民の皆様が丁寧にごみ袋使っていただいている。効率よくごみ袋を使っているというのも一つであると思っております。以上でございます。

委員長 ; 4番委員。

4番委員 ; 一般質問でちょっとあんまりあれし過ぎたかもしれんけども、頑張ってもらっておるわけですが、逆に言えば不法投棄によって、減るということはないと思うが、不法投棄の状況なんか、もしあれば。

委員長 ; 環境課長。

環境課長 ; 不法投棄が増えていって、ごみ袋が減っているというのも一つとして考えられることではありますが、現在のところ不法投棄につきましては、例年並みということでございまして、今年度につきましても、通報による不法投棄は今現在4件ほどでございます。その中には、ごみ袋に入るような生活系ごみというのはございません。特に大物があるというような現状でございます。

委員長 ; ほかにありませんか。4番委員。

4番委員 ; 商工費の恵那峡分。

委員長 ; ページ数は。

4番委員 ; 18ページ、商工費の恵那峡分ですが、ほかに一般財源など負担比率、いわゆる国からこだけ来るけど、これに関連した裏負担っていうか、そういうものはどんなもののなのか。この状況を教えてください。かなり商工に力入れすぎとらへんかという

話もあったりするもんだから、お願いします。

委員長 ; 観光交流課長。

観光交流課長 ; 恵那峡につきましては、一般財源が特例債になっております。合併特例債ということですが比率としましては、国庫金が4割、特例債が6割ということになっております。以上です。

委員長 ; ほかにありませんか。4番委員、歳入よろしいですね。
(マイクオフ:「はい」)

委員長 ; それでは、次に歳出に入ります。予算資料21ページから30ページまでの2款 総務費(所管部分)について、ご質疑はありますか。予算資料21ページから30ページ。4番委員。

4番委員 ; 26ページ、基幹交通対策のバスですけどデマンド交通、山岡それから明智、岩村は一般質問の答弁でもあったようですが、大井町、長島町についてはもう検討してもらっておるわけですが、学頭や松ヶ丘、桜台など住宅地、この高齢化が激しいとそこについては道路も狭いもんだからバスは入れないと、何とかしてほしいということで、出前講座などやってもらっておりますけども、こちらについては、いつ取りかかるのか、やられるつもりでしょうか。お伺いいたします。

委員長 ; 観光交流課長。

観光交流課長 ; 今回デマンドの導入をさせていただく岩村と山岡地域については、地域の中で協議していただいた結果ということになっております。大井町と長島町につきましても地域で協議していただいてという形になるかと思いますが、交通事業者の空白地でもございません。その辺は非常に困難なところかなというふうに考えています。30年度に第2次明知鉄道沿線地域公共交通網形成計画のほうを策定していきますが、その中では一応協議させていただくというふうなことになるかとは思いますが、ただし先ほど申しましたように最終的には恵那市の地域公共交通会議のほうで承認されるかということもございますので、今のところいつできるかというところまでは明言できないというような状態です。以上です。

委員長 ; 4番委員。

4番委員 ; 全然やる気の感じられない答弁で、これではちょっと納得はできないわけですが、地域に対して、山岡や明智、岩村こうやってやりましたよと。大井、長島の住民はそういうふう知つとると思うわけ、タクシーがあるでええやないかというような言い方かもしれんけども、向うはないから、こういうような段取りをするんやけど、タクシーやそれだけでもお金がかかるわけよ。年金は減らされる。消費税は上がる。

生活は厳しい。大きい買い物をして、坂やで上がって行けん。そういう状況でみんな困っとるわけね、それに対してどう配慮していくか。これについては、雇用を増やす。仕事を増やすということが、主の仕事かもしれんけども、やはり生活者のことも考えてやってもらわないかん。ついては、日常的っていうか。商工だけに任せるんじゃなしに、市民福祉とかそちらを含めた、いわゆる外出支援というようなこと。これについて、特に学ぶところ中野方。中野方の仕事の進め方を学んでもらって、行政のほうも、そういうふうな対応をしていただきたい。地元から、言わっせんで知らんよと言うふうじゃなしに、みんな困っとるわけやで、それは知っとると思うよ。岡瀬沢の人たちも、恵那峡のところは通るけど、岡瀬沢のあそことかはバスは通っとらんわけよ。そういうふうな条件なんかについてもね、しっかり仕事として捉えていただきたい。何とか今年度の予算、そういう話合いだけでもんだから、特別予算化せんでもできる話だと思いますので、これは担当課だけじゃなしに、副市長のほうでね、そういう全体的なところも考えたものを動かしていただきたい。特に高齢化が大変進んどる恵那市、恵那市の仕事としてやってもらいたいと思いますが、副市長お考えはいかがでしょうかね。これ要望だけど、あんな・・・とは失礼だけど。

委員長 ; 質問と要望と分けていただきますように。

4 番委員 ; そういう状況の中で、こういうふうに担当はその範囲だけしか出られないと、全体で考える話の所を恵那市として考える気はありませんかと、それをお伺いするわけです。

委員長 ; 答弁はありますか。無いようですね。

(マイクオフ:「副市長に・・・絡んでやっとする。一番の経験者やし、一番のあれもあるし。」)

委員長 ; 副市長。簡潔でよろしいです。

副市長 ; 先ほど中野方の件が出ましたけれど、中野方ですと地元で運行していただけるというような団体でございました。今の出ました松ヶ丘とそういうところでも、そういうような動きがあれば、考えていきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

委員長 ; ほかにありませんか。

4 番委員 ; そういう声があればということで、これについてはもう既に前の商工課のころから出前講座に来てもらったりしてやっているはずですので、その声があれば他人行儀じゃなしに、自分の仕事として、市役所の職員は取り上げていただきたいというふうに指摘しておきます。次に 28 ページで。

委員長 ; ちょっと待ってください。今から関連で副市長から答弁があります。

副市長 ; すいません声では無くて、団体があれば、請負ってくれる中野方のような団体があれば、すぐにできるのではないかなという、こういうお話をしたわけです。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; 団体があればということで、そういうふうなやり方がヒントとして来れば動きができるけども、これじゃあないぞと、恵那市はタクシーがあるで町の中はそれでじゃあないと言っとるぞと、それでも話は進まんわけね。そうやなしに、そういう問題について、こういうやり方もあります、ああいうやり方もありますよ、ということで、出かけて行って話をして、そういう中で要望をまとめて政策にして、国にも県にも要望していくと、そういうふうな捉え方をやっていただきたいと要望しておきます。

委員長 ; ほかに質問ありませんか。4 番委員。

4 番委員 ; 27 ページ、リニアまちづくり事業、これは 2,490 万円、野尻・野畑だけの話でしょうか。これ先ほど聞いたな。関連して残土運搬関係事業は、これはどうなのか、ここの中に費用として入れるかどうか。それから、二つ目として、岡瀬沢がまだご了解いただけてないということ、そういう問題もあります。それから笠置町では送電線、この地元の意見は聞くけども、地元の意見は聞いてみえると思いますが、どうなのか。これらの問題は日常経費で対応されるのか、特別な予算を組むことなのか、お伺いいたします。

委員長 ; リニアまちづくり課長。

リニアまちづくり課長 ; リニアまちづくり事業予算、2,498 万円でございます。野尻・野畑だけかという問いでございますけれども、主なものはその地区の測量設計費用でございます。これにつきましては、原因者である J R 東海が本来あるべきであるところを、特に野尻・野畑地区の市道は道路網の利用をもう少し検討しながらやるというところでございます、市のほうで主導して行いたいと、そういう意味で予算を計上しておるところでございます。旭ヶ丘につきましては、既に今年度から 29 年度から J R 東海と市と地元ということで、付け替え道路の協議はして、具体的に前のほうに進むように、今話を進めているところでございます。もう 1 件残土運搬関係のことも言われました。残土運搬に係る事業は、やはり原因者である J R 東海が対応すべきものでありまして、その対応策について、現在具体的にどのようなことができるのかということをお求めている状況でございますので、まだ現在進行形のことでございます。これについての特段の予算計上というものはございません。あと岡瀬沢についてと

いうところがありました。岡瀬沢地区につきましては、騒音の環境基準を満たすためのフード、この設置を幾度となくＪＲ東海に求めているという状況でございます。今だまだ明確な回答がございません。リニア建設のための現地調査のほうに、まだ入っていないという状況でございますので、こちらのほうの進展は少し遅れているという状況でございます。あと、送電線の話もございました。送電線は中部電力の送電線事業ということで進めておられます。これについては、笠置町リニア対策協議会とともに、地域の意見を尊重して、課題を改善して前に進んでいけるよう、市と地元と協力して現在も進めているところでございます。あとこういう問題が日常経費かというところでございますが、これにつきましては、協議であつたり、調整という業務でございますので、日常経費というか、人的対応の業務でやらさせていただいております。以上でございます。

委員長 ; ほかにありませんか。２番委員。

２番委員 ; 26 ページの地籍調査事業費について、１点お伺いします。この新規予定地区の２地区とおっしゃって武並町の竹折としておりますけども、この地区の詳細な地区がわかれば教えてください。

委員長 ; 建設部次長。

建設部次長 ; こちら瑞浪恵那道路、今度事業化されます区間のところでございます。早曾洞地区といいまして、１番武並町でいう東側の地区となります。以上です。

委員長 ; ２番委員。

２番委員 ; 武並町の東側ということはヤマギシ周辺と思ってもよろしいですかね。
(マイクオフ : 「はい」)

２番委員 ; これ、瑞浪恵那道路、また恵那西工業団地に関係する地区だと思いますので、ずっと継続してやっていただけると思うんですが、その点いかがですかね。結構登記までに６年ぐらいかかると思いますので、継続してやっていただけるかちょっとお聞きします。

委員長 ; 建設部次長。

建設部次長 ; こちらの地区につきましては、事業完了まで継続してやっていきたいと思っておりますし、ほかの隣接する地区も瑞浪恵那道路の進捗に合わせまして、向こうの事業の支障とならない範囲で、こちらのほうで事業推進ができると判断できた場合には、地区を拡大していく予定であります。以上でございます。

委員長 ; ほかにありませんか。４番委員。

４番委員 ; 29 ページ、えな土地改良区、ゼロになつとるけど廃止ということですか。そうする

とこの事業は今後どこが対応されるのか。事業そのものが無くなるのか。ちょっと、お伺いいたします。

委員長 ; 農政課長。

農政課長 ; この 150 万円でございますが、えな土地改良区の総代の役を決めていただく選挙の費用でございます。選挙費といたしましては、これも土地改良法に基づきまして、4 年に一度、総代の方を決めていただくということでございまして、29 年度ございましたが、4 年後にはまた予算を計上させていただきたいというふうに思っております。以上でございます。

委員長 ; ほかにありませんか。4 番委員。

4 番委員 ; 就業構造の統計調査費、就業構造データは重要なはずですが、これは無いようになった、さっき同じような関係でしょうか、お伺いいたします。

委員長 ; 総務、これは総務委員会だそうです。ほかにありますか。4 番委員。

4 番委員 ; 労働費用はこの款だと思いますので、この調査によってその関係しとる団体は調査をどう活用しておるのか。見たことあるのかないのか。今の就業構造会計は、これは費用としては総務かもしれんけど、ここに出てきたデータを商工のほうはどう活用しているかと。また違う。費用は違うかしれんけど。

委員長 ; 4 番委員よろしいですね。

4 番委員 ; はい結構です。

委員長 ; 次に、予算資料 35 ページから 38 ページまでの 4 款 衛生費（所管部分）について、ご質疑ありませんか。1 番委員。

1 番委員 ; 37 ページ、1 項 10 目ごみ減量化対策事業費、これの指定管理料のことですけど。現在、指定管理受けてみえるところが六、七年経過をされておるというふうに思います。恵那市 3 R、こういう自主事業もある程度、軌道に乗っているのかなというふうに思うんですが、この指定管理料の考え方っていうところで同じように収益施設なんかは、その収益で運用していくっていうことでゼロ円の指定管理料で対応しているというところが結構あるわけです。この辺の考え方を今後どういうふうに対応されるのかっていうのをちょっと聞きたいです。

委員長 ; 環境課長。

環境課長 ; 委員おっしゃられたとおりでございまして、この指定管理料のあり方、考え方につきましては、昨年末、また本年、年明けに指定管理者へ今後協議していきたい大きな課題であると申し入れております。内容につきましては今言われたとおりでございまして、いわゆる指定管理料の減額とかそういうことではなくて、収支の balan

スが取れる中での指定管理料をゼロでの管理運営というところでございます。今投げかけたばかりでございますので、今後指定管理者と一緒に協議検討を行いながら、こちらから方法等の提案をしながら、採算がとれるような指定管理施設を目指していきたいと思っております。しかしながら、ふれあいエコプラザというのは3Rの推進拠点でございますので、単にゼロ円委託というわけにはいかない側面も含んでいるということもありますので、今後、十分な議論を進めていきたいと思っております。以上でございます。

委員長 ; 1 番委員。

1 番委員 ; 本当にこれ提案なんですが、専門的な今の3Rの事業についてはなかなか素人の方が難しいというふうに思うんですけど。ただそこを例えば切っていただいて、その施設管理だけを私たちはやれるというような、そういう事業体がもしあれば、本当にご検討いただきたいというふうに思います。これは要望をお願いします。

委員長 ; ほかにありませんか。4 番委員。

4 番委員 ; 35 ページ、環境衛生一般経費 4,893 万円、環境団体との技術提携と情報収集、これらについてはどのようなふうに予算化されておるのか。お伺いをいたします。

委員長 ; 環境課長。

環境課長 ; こちらにつきましては県内外各種団体、協議会での研修や会議において、技術の取得等々を行っているわけですが、例えばでございますが、豊川矢作川水系水質汚濁対策協議会では、国、県の関係機関及び流域の自治体による河川水質保全に係る情報共有ということをやっております。また、オイル流出事故を想定したオイルフェンスの設置講習というのもやっておりますので、うちの職員は受講して技術を習得しているということでございます。また、阿木川ダムでも定例会議というのをやっております。こちらでは阿木川ダム管理所及び恵那市におけるダムの水質保全に関する情報共有でございますが、このデータが阿木川環境対策協議会での報告資料、またはデータ共有資料という形で情報を共有しているというような状況でございます。以上でございます。

委員長 ; ほかにありませんか。2 番委員。

2 番委員 ; 予算資料の 38 ページ、労働対策事業費についてお伺いしますが、これ諸団体負担金、これジョイセブンだという説明がありましたけども。

委員長 ; これ次、労働費は次やで。

2 番委員 ; 失礼。

委員長 ; 次の質問をお願いします。4 番委員。

4 番委員 ; 37 ページ、環境対策経費、倍化していますけども、どうでしょう。その内訳。ちょっと、お願いします。環境対策経費が増えて。

委員長 ; 環境課長。

環境課長 ; 増えた内訳でございます。まず1 点目としましては、ごみ袋作成業務をじん芥収集処理事業費から、いわゆるエコセンター恵那から、環境対策経費、環境課のほうへ移行しましたもの、これが 1,400 万円ほどございます。あわせてごみ袋の販売手数料で 440 万円ほど、あと毛呂窪最終処分場の使用前点検と補修工事で 220 万円ほどでございます。以上でございます。

委員長 ; ほかにありませんか。4 番委員。

4 番委員 ; 37 ページ、浄化槽の設置について、これ達成率。そして、効果の把握など、合併浄化槽がええと言うけども、しかし環境については市の用水にあおんどろが張るとか、そんなようなことも聞いたりもするわけですけど。浄化槽の状況はどんな状況なのか。それでまた効果なんかは把握されておればデータとして捉えるものがあれば教えてください。

委員長 ; 上下水道課長。

上下水道課長 ; 浄化槽の設置の達成率、効果の把握ということですが、浄化槽の設置の補助件数は、平成 27 年度で 70 件、28 年度で 71 件、29 年度は 68 件となっております。合併浄化槽の普及率は、平成 27 年の 3 月末で 79.9%、28 年の 3 月末で 84.8%、29 年 3 月末で 88.5%となっており、生活排水による、河川等の水質向上が図られていると考えております。以上です。

委員長 ; ほかにありませんか。4 番委員。

4 番委員 ; 37 ページ、じん芥収集処理事業 1,961 万 9,000 円、これ減っていますが、なんか自動車が変わったか何かですか。

委員長 ; エコセンター恵那所長。

エコセンター恵那所長 ; これにつきましては、先ほどもお話がありましたが、ごみ袋の作成、販売の業務を環境課へ移したためのものと、それからあと共済保険料建物自動車の保険のほうが財務課で一括計上していることによる減ということになっております。以上です。

委員長 ; ほかにありませんか。4 番委員。

4 番委員 ; 勘定科目が変わったということのようですが、さっき環境衛生一般経費の中で各種団体、団体の中では恵那市の環境を守るために頑張ってもらっている。あそこの市民エコ会議の皆さん、ここの話で恵那市の町のごみ減量環境、言ってみれば、よそでやっているような環境都市宣言。これをつくるについての一定の情報交換とか、

そういうことなんかはやってみえませんか。そういうことは今後予算化するようなことはないか。お伺いいたします。

委員長 ; 環境課長。

環境課長 ; ふれあいエコプラザでは定例会を毎月開催しております。こちらへ出席しているのと、今現在部会というのを開いております。当然ごみ減量化、または資源の分別化に向かうような部会、それぞれのピンポイントでの議題を上げながら部会を開催している中でございます。議員ご提案いただきました環境都市宣言ということもお聞きしました。大変ありがたい話だなと思っております。平成 30 年度にはごみ減量化に向けたより幅広い市民の皆様との研究会を設置したいと思っております。この準備を今ふれあいエコプラザと進めている段階でございます。環境都市宣言といったこのようなワードも頭に置きながら、市民の皆様や企業、団体とともに、ごみ減量化もそうですが、恵那市の自然環境、生活環境、こちらの維持向上に向かって、ともに活動できるよう考え行動していきたいと思っております。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; ふれあいエコプラザは恵那市の特徴というか、恵那病院で産婦人科ができたのと同じぐらいの、ぐらいじゃない、それと同じように、恵那市の自慢できる施設だというふうに思いますね。そこで金儲けしようと思ってつくったわけではない。道の駅とかそういうのと違ってね。やはり環境をよくしていくと恵那市の環境を守るんだというためのステーションっていうか、中心の場所というようなことでやったものだから、当然一定のお金も要ると思うし、比較的にあの人たちのやる気を引き出していくというのが大きな力、大事な仕事やないかと思います。そういう大事な拠点としての位置づけはしっかり出して、皆さんにごみの減量化をわかってもらったものだから、一般質問の答弁でもあったけども、ゴミの全体の目標は達成しとると、減つとるといふことなんかもあると思う。そういうものを打ち出して皆さんに活用してもらって、ごみのほうも出すときにはひと絞り絞って水を減らすと。それで燃料を減らす。そういうふうに努めてもらうようにひとつ頑張っていただきたいと思います。

委員長 ; 他にありませんか。

(「なし。」と言う者あり)

委員長 ; 質疑並びに要望は簡潔にお願いしたいと思います。よろしくお願いします。次に、予算資料 38 ページの、5 款 労働費についてご質疑ありませんか。2 番委員。

2 番委員 ; 38 ページの労働対策事業費についてお聞きしますが、諸団体負担金、これ多

分ジョイセブンのことだと思いますけども、これが平成 29 年度では 350 万 4,000 円という予算で今回 30 年では 595 万 4,000 円、この増の理由をひとつ教えていただきたいのと、それから、住宅生活資金の貸付事業、昨年が 4,000 万円、今年度は 3,000 万円ということで 1,000 万円減額になったんですが、その理由をあわせてお聞きします。

委員長 ; 商工課長。

商工課長 ; まず、ジョイセブンの補助金でございます。29 年当初では 713 万円の当初予算計上でございます。本年度は 716 万円ということでほぼ横ばいということでジョイセブンの補助金を計上させていただいております。もう一つ、労働対策費のうちの勤労者生活資金住宅資金の預託金でございます。こちら 1,000 万円の減としておりまして、現在のところ生活資金の貸し付け者 2 名でございます。生活資金が 2 名、住宅資金につきましては 24 名の貸付者がございまして、利用率を換算しましても、預託金額、十分対応できるということで今回 1,000 万円減をさせていただいております。ほかの部分で増額をさせていただいたということで雇用対策協議会負担金の増を上げさせていただいたということで、今回この 5 款につきましては対応させていただいたところでございます。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; 市長のほうはですね、「はたらく」「たべる」「くらす」というふうに言っている中で労働費がこんなに減るとビックリするわけやけど、そういう面のことは事業では考えてないのかということですけど。向こうにつけかえたという話もありますんですが、いわゆるよく聞くと、ビジネスサポートセンター、ここでも労働者の対応についてもやっていますよという話ですが、労働者の待遇改善、これについての対応はビジネスサポートセンターでやっておるのかどうか。それについてまずお伺いします。

(マイクオフ：労働費だね。)

労働費ですよ。労働者のことを考えるのがこの費用やら。

委員長 ; 商工課長。

商工課長 ; 労働者の待遇改善に対してビジネスサポートセンターにおいて業務を行っておるかというご質問でよろしかったと思いますが、労働者の待遇改善を行うことにつきましては特に賃金を上げるということが人材確保の面からも重要、大変有効であるというふうに考えております。しかしながら、人件費の上昇につきましては、経営を左右する大きな問題であるために責任のある経営者が判断すべきものであるという

認識を持っております。よって、現在、ビジネスサポートセンターにおきましては人材確保の面からのご支援はさせていただいておりますが、待遇改善という業務については、現在業務を行っておりません。

委員長 ; ほかにありませんか。4 番委員。

4 番委員 ; そうすると、労働者の待遇改善については、市役所ではどこが担当するの。この仕事は。労働者の話を持っていっても経営者のことを先に考えてまってやね、労働者の生活が厳しくて、だんだん、だんだん、その何というかね、派遣も増えてきとるそのような状況の中でどう行政はね、それやなしに、前も言ったかも知れんけど、最低賃金なんかは愛知県に比べて岐阜県は低いと、少しの引き上げで、なんかな、そういう環境におって、子どもも安心して産み育てられる、そういう環境をつくってかないかと。これが恵那市の置かれた、大事な今の状況、環境だね。そういう中で、この問題についてはどこが考えるのか。中小企業の経営にすればどうするかということも含めてちょっと聞かせて下さい。

委員長 ; 商工課長。

商工課長 ; 中小企業の経営であるとか、ご相談、また中小企業が元気に市内で活躍できるかどうか、これは十分我々考慮しながら商工振興費等々で、実施をしていくものと考えております。ただ、労働者の待遇改善というものは、労使の間で実施すべきものであると思いますし、これを行政が率先してリードすべき内容ではないのではないかと。ですので我々といましては、労働者自体への施策としましては先ほど申し上げました貸付金であるとか、低利な貸付金を実施するとか、住宅においてはその低利な住宅貸付資金を実施することで、間接的に労働者の可処分所得を向上させていきたいと考えております。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; それなりにメニューを出している貸付資金もあるけども、利用者はあなたが言ったように本当に少ないわけね。予算さえ減らしてしまうと。これで十分じゃもう要らんのかと。それ以外にほかのものを要望されとるんじゃないかと。そういうふうな調査をするようなことは、この担当している部門としてはやりませんか。やる気はないですか。

委員長 ; 商工課長。

商工課長 ; 調査自体はこの予算でもっております。今新年度におきまして調査実施予定の予定はございません。

委員長 ; ほかにありませんか。4 番委員。

4 番委員 ; 恵那市の人口減少を対応するためにどうしたらいいか、一つ考えてやっていただきたいと思います。

委員長 ; 今のは何ですか。

(マイクオフ：「はい。はい。」)

委員長 ; 次に、39 ページから 41 ページまでの第 6 款 農林水産事業費について、ご質疑ありませんか。4 番委員。

4 番委員 ; 農林水産事業費の中の地産地消、食育推進計画の策定、多治見市はやっていますが、恵那市は相変わらずこれについては考えがありませんか。41 ページ、地産地消。

委員長 ; 農政課長。

農政課長 ; 食育推進基本計画についてのご質問だと思いますが、議員言われるように食育基本法が平成 18 年 4 月から施行されておりまして、その中で市町村は国が作り出した食育推進基本計画を基にして、市町村は計画を作成するよう努めなければならないというふうにうたっております。恵那市においては平成 25 年から 34 年度ということで 10 年間の計画として、恵那市いきいきヘルシープランⅡというのを作成しております。これでもって今取り組んでおるところでございますが、随所に見直しをかけながら、また計画を直しながらというようなことで考えております。以上です。

委員長 ; ほかにありませんか。2 番委員。

2 番委員 ; 40 ページの上段の鳥獣害対策事業費が 1,400 万円ほどの減額となっております。これ非常にニーズはあるともありますけども、この減額の理由を教えてください。林政課長。

林政課長 ; 今年度と比較としまして 1,400 万円ほど減っておりますけども、この内訳としましては、今年度 29 年度ですけども、射撃場の修繕工事をしております。その工事が 30 年ではありませんので、その減額になっております。今おっしゃった補助等の減額はありませんで、例年どおりの補助金は見積もっております。

委員長 ; 予算資料 42 ページから 43 ページまでの 7 款 商工費について、ご質疑はありませんか。4 番委員。

4 番委員 ; 42 ページ、商工総務一般経費 3,010 万 2,000 円の増の内訳を聞かしてください。去年より給与費が 3,000 万円増えている。何人増えるのか。この理由をお伺いいたします。

委員長 ; 商工課長。

商工課長 ; 増減の理由といたしましては、商工総務一般経費は商工観光部職員の人件費等が主なものでございます。昨年度、当初予算の対象職員数は 17 名でございました。これ

に對しまして新年度、今回の算定に当たりまして対象職員数は 20 名となっておりまして 3 名増加しております。よって、この 3 名増が 3,000 万円の要因となっております。

委員長 ; 他にありませんか。 2 番委員。

2 番委員 ; 43 ページの中段 1 の 5 の観光担い手育成事業費の中で、一般財団法人恵那市観光協会等を育成強化としてありますけども、この等ということは他にあるということなんですけども、その他に何かあるのか。それから育成強化でこれちょっと具体的に教えていただきたい。よろしくお願いします。

委員長 ; 観光交流課長。

観光交流課長 ; 担い手である観光協会等とありますが、主は観光協会でございます。他には育成強化する団体が今のところございません。育成強化につきましては、今ですとほぼ毎月になりますが、協会のほうと打ち合わせをしながら P R について等の打ち合わせをさせていただいています。

委員長 ; 他にありませんか。 4 番委員。

4 番委員 ; 42 ページ、企業誘致、8,200 万円。これが下がっているのは。減の理由は。

委員長 ; 商工課長。

商工課長 ; 主な要因といたしましては、企業立地奨励金におきまして交付予定の企業数、前年度 15 社を予定しておりましたが、新年度は 13 社ということで 2 社減ったということで、ここで 6,700 万円ほど減になるだろうというふうによんでおります。その他には、サテライトオフィス推進事業におきまして、前年度は改修分を当初予算に盛ってございましたけれども、新年度は改修する必要はないということでその減額ということで 530 万円ほどを減額しております。あと、工場適地調査におきましても新年度におきましては実施しないということで、前年比較という中で 300 万円の減額ということでございまして、こういった主な原因が重なりまして全体では 8,256 万円の減になっておるところでございます。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; 本社機能の誘致調査委託料、これはどこら辺でどんな格好で頼むわけですか。

委員長 ; 商工課長。

商工課長 ; 委託料としまして 35 万円ほど新年度において予定をしております。これは県のほうも本社機能の誘致に力を入れるということでございますので、恵那市においても一緒になって行っていきたいと考えておりますが、少し専門的な調査、受け皿を得るための専門的調査を委託したいというふうに考えております。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; 42 ページ事業としてプレミアム商品券。これまでもやってきたんですけども、その実績とこれの評価、教訓など。これで恵那市は幾ら補助金を出すのか。それについてお伺いをいたします。

委員長 ; 商工課長。

商工課長 ; 前回、プレミアム商品券事業というのは平成 27 年に実施をしております。平成 27 年の 7 月から 12 月までの 6 ヶ月間実施をいたしまして、その時には一般用というものと子育て用というものを実施しまして、総額 2 億 7,000 万円の発行を行ったところでございます。プレミアム率につきましては、一般用といわれるものは 20%。そして、子育て世帯用というものは 50%としております。全ての商品券、これは販売ができて、換金率 99.7%ということですので、ほとんど全てが流通したというところでございます。事業効果ということでございます。商品券購入者のアンケート結果からの推計を行いましたところ、消費喚起効果という、要は、今回のこの商品券事業がなかったら購入しなかったであろうという部分を推計いたしましたところ、1 億 6,000 万円というものがこの消費喚起効果として上がったというふうに推計をしたところでございます。もう一方、商品券を取り扱っております加盟店さんのアンケートにおきましては、約 70%の店舗の方が、今後同様な事業があった場合には参加をしたいというふうにおっしゃられておりまして、加盟店などの一定の評価は得られたのかなというふうには感じている次第でございます。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; 恵那市が負担するお金というのはどんなもんかな。

委員長 ; 商工課長。

商工課長 ; 総額 1,200 万円を用意しております。

委員長 ; 他にありませんか。4 番委員。

4 番委員 ; シニア雇用推進事業費、ビジネスサポートセンターが支援する対象はどのような階層の人をやるのか。今のシルバー人材センターとの違いは。確か説明があったと思いますが、どういう人をお願いするのか。管理職とかそういう人なのか。いつまでやるのか、3 年間だけなのか。ちょっとお伺いします。

委員長 ; 商工課長。

商工課長 ; シニアワークステーションにつきましては、新年度になりまして新規に取り組みたいという事業の一つでございます。実施内容といたしましては、シニア推進員という方を 1 名配置していきたいと思っております。その方を中心に展開をしていき

いと思っておりますが、その方にはまず一つ、企業さん側の事業の切り出し。シニアでもできる仕事をまず作っていただきたいというところでの展開を図っていただきたい。もう一方でその受け皿ができた段階で、シニア層の皆様にどんどんPRをして仕事に就いていただきたいというところを柱として動いていきたいと考えております。暮らしビジネスサポートセンターにおきましては、これまでも働くという事業を実施しております。よってその中の範ちゅうに入るわけですが、特にシニア層に特化をして実施していきたいということで、シニアワークステーションを立ち上げ、実施していきたいと考えております。

委員長 ; 他にありませんか。4番委員。

4番委員 ; 恵那ブランド育成。これ1億円あるわけですが、特に貸付金どのようなものに貸し付ける項目が決まっているのか。新たにつくるのか。継続なのか。継続かもしれませんが。

委員長 ; 商工課長。

商工課長 ; 恵那ブランド育成事業費におきましては、メニューといたしましては前年度と同じメニューになっております。マル経融資への利子の補給、創業支援に対する創業支援資金に対する利子の補給、そして先ほど申し上げました小口融資の信用保証料の補給金の補給。そして一番大きなものが小口融資の貸付金の預託金として1億円がここに計上されております。一つ、恵那市単独で行っておりますブランド支援補助金、これは恵那市商工振興補助金という形で、中小企業の皆様等々含めまして実施をしておるところでございます。こちらにつきましては市内で起業する場合に、例えば店舗等の開設費用に当たっての補助金を出したりとか、6次産業化のための開発費、または委託等に関しても補助金を出したりとかしております。この恵那ブランド支援補助金に対しましては全体で700万の予算をもって、今後も支援をしてまいりたいと考えております。

委員長 ; 4番委員。

4番委員 ; 恵那ブランドについては、関連する人も多い、米が特Aというが3年続けたというふうなことで全国60何市かの中で、恵那のコシヒカリ、これが特Aのランク付けされたもので、これもひとつ併せてね、農と組んで町の店屋さんに行けば、特Aの米を使ってるよとかいうチラシを店に貼り出してもらおうというふうにすればいいんじゃないかと思うのですが、それは要望しておきます。次に、交流人口を470万人目標ということですが、なかなか来てもらっても宿泊施設がないので落ちるお金が少ないがどれぐらい落としてもらうか、そういうことなんかについては、見込みがさ

れておるのかどうか。ちょっとお伺いいたします。それから関連してラフォーレ福寿の里、これはリニューアルについての課題がどうなのかと。特に心配するのが交通量。今後の見込み、第二東名があるもんだからそちらのほうにお客さんが増えて、通行車両が増えてくるというふうな希望があるのかどうなのか。そのところなどについて、ちょっとお伺いしたいんですが。

委員長 ; 観光交流課長。

観光交流課長 ; 交流人口に対する経済効果の見込みはちょっと後ほど計算させていただきます。申し訳ございません。ラフォーレ福寿の里の課題といたしまして、先ほど交通量の話がありましたが、交通量につきまして平成 29 年度はラフォーレのほうの道の駅の入り込み客数が 19 万 2,000 人、28 年度が 20 万人。27 年度は 17 万人ということで約 20 万人前後推移しております。交通量の変化は今のところはないかなというふうには思っておりますので、お願いいたします。

委員長 ; 他にありませんか。ここで委員長より申し上げます。正午を目安に委員会を進めさせていただきますと思いますので、質疑、答弁、要望については簡潔に要点を絞ってお願いします。それでは 2 番委員。

2 番委員 ; 43 ページ、観光資源活用事業費の中の恵那峡再整備事業の中で、第 4 駐車場の計画が載っておりますが、これの総事業費、第 4 駐車場限りの総事業費というのは幾らぐらいですかね。

委員長 ; 観光交流課長。

観光交流課長 ; 30 年度の事業としましては、用地測量と設計の購入という形になりますので、約 6,900 万円になります。その後、平成 31 年度に整備という形になりますが、整備につきましては、まだ精細なところまでは出しておりませんのでというようなお答えになります。申し訳ございません、よろしくお願いします。

委員長 ; 2 番委員。

2 番委員 ; おおよそでも分りませんか。

委員長 ; 観光交流課長。

観光交流課長 ; 平成 31 年度の駐車場の整備費用としては、約 9,000 万円から 1 億円程度になるかとは思っております。お願いします。

委員長 ; 2 番委員。

2 番委員 ; これ恵那峡の駐車場の計画ですけども、今現在 192 台分の普通乗用車の駐車スペースがあると思うんですけども、これで賅えないということはやっぱりイベントなどがあって、それに対応するための駐車場というふうにも考えますけども、これ恵那

峡グランドホテルが非常に近いということもあって従業員の駐車場にもなりかねないというような話もあると思いますけども、近くにシアター恵那の駐車場もあるということで、何か活用できることはないかと思うんですが、そんなことで対応できるかできないかを一つどのように考えてみえるかお聞きしたいと思います。

委員長 ; 観光交流課長。

観光交流課長 ; 今ほどイベントの話が出ましたが、イベントというよりは恵那峡のハイシーズンと言われている桜と紅葉の時期につきましては、10 時過ぎから駐車場に並び始めて混雑が 3 時過ぎまで続きます。やはり駐車場が無いのでぐるぐる回って帰られてしまうというお客さんが非常に多いというふうなことは聞いております。データとしてはとっていないので何台ぐらい帰ってしまっているということはちょっとはつきり申し上げられませんが、やはりあの駐車場の不足というのは、観光地にとっては致命的ですので、そこは増やしていきたいというふうに考えています。シアター恵那につきましても今、中央競馬のほうの開催が行われていますので、そちらのほうの駐車場のお客が増えているということもあって非常に駐車場の方も混雑しているということになってきておりますので、この時期にぜひ駐車場を増やしていきたいというふうなことで考えておりますのでお願いします。

委員長 ; 2 番委員。

2 番委員 ; 第 4 駐車場にあっては、その下に遊歩道が確かできていると思いますけども、せっかくできるのなら、第 4 駐車場から直接遊歩道に道を付けるというような、そのような計画にしたらどうかと思いますけども、どのような考えですか。お願いします。

委員長 ; 観光交流課長。

観光交流課長 ; 委員おっしゃられる遊歩道というのは大井ダムのほうへ行く道ということですね。できましたら、そこも建設課のほうの市道の関係にもなりますので、調整しながらやっていけたらというふうには考えていますが、今のところはそこまでございまずのでそのようにお答えしておきます。。

委員長 ; 2 番委員。

2 番委員 ; できれば有効活用できるよう、しっかり計画をしていただきたいと思います。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; 浪漫亭はどこ、観光施設維持管理経費でいいですか。それともちょっとお伺いしますけど。42 ページ。これは順調にやってみえると思いますけども、特段に今年度予算でお金を入れるというようなことはないわけですか。

委員長 ; 観光交流課長。

観光交流課長；本年度29年度もそうですが、経営支援補助金という形で約100万円入れております。

その金額につきましては30年度も変更なしで、約100万円ということで入れる予定で計上しております。

委員長；4番委員。

4番委員；あそこの駐車場が前の西銀座のと同じような舗装がしてあるので、ぼろぼろこぼれてほこりがたつというふうな状況に。もうちょっと早くやればいいのかもしれんけど。一遍見てもらってプロに見てもらって対応をしてもらうといいのではないかなというふうに思いました。

委員長；要望ね。

4番委員；続いてですが、43ページ、観光資源活用で本陣や行在所、中山道についてはちょっと見当たりませんが、今年度は特段のものはないのでしょうか。

委員長；観光交流課長。

観光交流課長；観光交流課としましては、本陣や行在所という、それぞれの建物というよりも、市内全体で中山道という街道で考えておりますのでお願いします。中山道は平成24年に岐阜の宝物として認定されておりまして県が非常に力を入れているような状態です。恵那市としましてもこういったところとタイアップしながら誘客に繋げたいというふうに考えております。

委員長；他にありませんか。

（「なし。」という者あり）

委員長；それでは、次に予算資料43ページから46ページまでの8款 土木費について、ご質疑はありませんか。5番委員。

5番委員；44ページの生活市道整備事業費ですが、生活市道の関係の要望いろいろ非常に多いと思いますけれども、今年度大幅に予算削減されていますけれども組み替えたことによる理由とか、あるいは平成29年度、何か大きなものがあつたのか。そういうところの予算減の理由をお聞きしたいです。もう1点、45ページの都市計画推進経費の中で武並駅周辺の利便性向上に向けた調査、この委託料2,400万円ありますが、これは、主にどのような調査をされようとしておられるのかお聞きします。

委員長；建設部次長。

建設部次長兼建設課長；まず生活道路整備事業の減額の理由でございますが、平成29年度におきまして、大井町の中田線、飯地町の58号線、明智225号線、武並町の天神前山本線と長島町67号線という5路線が今年度をもちまして事業完了いたしましたことによる減額となっております。

委員長 ; 都市住宅課長。

都市住宅課長 ; 都市計画推進経費についてご説明させていただきます。委託料の内訳としましては都市計画基礎調査で 1,300 万円。都市計画道路及び用途地域の検証業務で 1,000 万円。武並駅周辺の利便性の向上のための調査を 100 万円という内訳になっております。

委員長 ; 5 番委員。

5 番委員 ; 生活道路のこの理由はわかりました。5 路線が完了したということですが、新たにやらないといけないような路線はないわけですか。そこら辺の考えをお聞きたい。

委員長 ; 建設部次長。

建設部次長兼建設課長 ; 生活道路につきましては地域の要望に基づき路線を選定して事業を行ってまいりましたが、インフラの長寿命化並びに老朽化に対して維持管理のほうへ改良予算より維持管理のほうへ予算をシフトしていきたいということで、当面そちらのほうの維持管理のほうに予算確保していきたいということでございます。

委員長 ; 都市住宅課長。

都市住宅課長 ; 武並駅の利便性の調査ですが、恵那市の西の玄関口ということで、武並駅周辺の利便性が向上するように、地元協議を行いながら具体的な方策等を一緒に考えていきたいというふうに考えております。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; 関連になりますけども、武並駅周辺の調査、100 万円というのはちょっとあれやけど。ここでは三郷町からバスを乗り入れると、武並駅へ。三郷の人が中央線に乗ろうとすると恵那駅に来るよりもここに来たほうが早い。何でバスを出していないかというふうに名古屋からかわって来た人は言われるわけね。そういうことも含めて考えていただけたらどうかということと、それから自転車通勤の人が大変多い。駅前に放置しちゃいかんけども、会社のね、車がたくさん置いてあります。そういう人たちの話なんかを見ると、コンビニがあるといいなというような話も聞いたりするわけね。だから、ただただ駐車場を作るだけやなしに、全体的な第 2 都心、第 2 副都心というか、そんなような関係で土地もあることなのでいろいろなことが考えられるんじゃないか。特に、あそこの工業団地で働く人たち、あそこへ来ている企業の方がこの前、面接の方があったけど、その時に話をしたらやっぱりそういうのができてくれるとありがたいですと。働く人たちのためにもね、福利厚生にもなるしというふうにも言ってみえたもんですから、ひとつそういう観点からも含めて 100

万円と言わずもう一つプラスするぐらいにしてでもええで調査をしてもらって、いわゆる希望の持てるそういう計画を作ってほしいと思います。何と言っても1番JRが近いと名古屋に近いということなので、本当に有利な地形というか立地だと思いますので、何としてもそんなことも含めて検討していただきたいと、これを要望しておきます。

委員長 ; 2番委員。

2番委員 ; 私の地元のところですけども、一言だけ。聞くことはないかもしれませんが、調査費100万円付けていただいて本当にありがとうございます。これは瑞浪恵那道路に関連する、また武並の発展のために付けていただいた私第一歩だというふうに思っておりますので、また7年ほど前に武並町の地域協議会から建議書が出ていると思います。その建議書の中にこの武並町どうしたらいいかというのが全て載っていると思いますので、それを基本にして研究調査をしていただきたいと。また地元と必ず検討して進めていきたいと思いますので、そんなふうにとぶん考えてみえると思いますので、そこだけちょっとだけ答弁もらえれば。そういう考えだということで。

委員長 ; 都市住宅課長

都市住宅課長 ; 建議書とか、いわゆる今後の住宅政策につながるとか、駐車場とか、そういったいろんな可能性も含めてご意見等いただきながら協議をしていきたいというふうに考えております。

委員長 ; 他にありませんか。4番委員。

4番委員 ; 44ページの急傾斜地についてですが、次期の予定箇所はありますか。

委員長 ; 建設部次長。

建設部次長兼建設課長 ; 今回、急傾斜を予定いたしておりますのは、武並町中切地区でございます。急傾斜地崩壊対策事業の事業箇所につきましては基本的には県事業で実施をお願いしておりますわけでございます。県事業で公共採択できない箇所につきましては、市事業で実施しております。市事業といたしましては次の事業箇所を具体的に計画してはございません。

委員長 ; 4番委員。

4番委員 ; リニアの関係する旭ヶ丘なんかはそういうふうな対処として検討はしていないですか。急傾斜地対象。

委員長 ; 建設部次長。

建設部次長兼建設課長 ; 県事業といたしましては今現在、要配慮者施設ですとか、避難所、そして対象人家が多いところなどを優先的に現在恵那市内で2ヵ所の急傾斜事業を行っていただい

ております。次の箇所につきましてもそういった観点で総合的に勘案して計画をしていただく予定でございます。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; 43 ページ戻りますが、おさしま二葉こども園通園主要市道整備事業。一応今年度予算でこれも完全だと。来年の開園は大丈夫ですよ。親がこれで納得してもらえるというふうに思っていますか。

委員長 ; 建設部次長。

建設部次長兼建設課長 ; 現在は横断歩道設置のための協議を公安委員会等で協議を行っております。開園時点では、おおむねの安全対策並びに交通対策は実施できる予定でございますが、一部建物移転の関係で、31 年度に少し事業が残る予定でございます。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; 大きな建物があの中に建ってきて、ばかに園庭が狭いなというふうな話もあるわけですが、いずれにしても 240 人からの子どもが来ると、それに先生も来るということなんかもあるし。だから今の線形では無理やないかと。前から地元から提案のあった永田 66 から入れるというようなこと。地域懇談会でトラブル等ありましたけれども、それについて検討すべきじゃないかと。それが子どもたちの安全の確保のために、そして地域開発も関連するし、そういうふうな検討は多分一旦途中まではやっていると思いますが、それについて、今、行政としての認識というか感覚というか思いはどうでしょうか。お伺いします。

委員長 ; 建設部次長。

建設部次長兼建設課長 ; はい、ご指摘のとおり、市営住宅の方面から今回のおさしま二葉こども園の前を通って行く道路通過交通大変多くございます。そのバイパス機能と並びに大洞南のは場整備の区域がございますけども、こちらのほうの土地利用計画も含めまして総合的に勘案しまして、永田川を渡る橋の事業効果を検証して実際に検討してまいりたいと考えております。

委員長 ; 他にありませんか。

(「なし。」という者あり)

委員長 ; 次に、予算資料 58 ページの 11 款 災害復旧費について、ご質疑はありませんか。

(「なし。」という者あり)

委員長 ; 次に、予算資料の 7 ページの債務負担行為（現年度議決分）（所管部分）について、ご質疑ありませんか。

(「なし。」という者あり)

委員長 ; 次は、予算書のほうでお願いします。予算書及び説明書の 270 ページから 271 ページの債務負担行為に関する調書（過年度議決分）について、ご質疑ありませんか。
（「なし。」という者あり）

委員長 ; 次に、予算資料にお戻り下さい。予算資料の 9 ページから 11 ページまでの地方債の状況（所管部分）について、ご質疑ありませんか。
（「なし。」という者あり）

委員長 ; 次は、予算書のほうへお願いします。予算書及び説明書の 2 ページから 5 ページの第 1 表 歳入歳出予算（所管部分）について、ご質疑ありませんか。
（「なし。」という者あり）

委員長 ; 次も、予算書のほうでお願いします。予算書及び説明書の 9 ページから 11 ページ、歳入歳出予算事項別明細書（所管部分）について、ご質疑ありませんか。
（「なし。」という者あり）

委員長 ; そのほか、全体を通して所管部分についてご質疑ありませんか。
（「なし。」という者あり）

委員長 ; ここで観光交流課長より答弁があります。

観光交流課長 ; 先ほどの水野議員のご質問でございますが、450 万達成による経済見込み額ということでございました。450 万人というのは、そもそも延べの数値ということであって重複している場合が多くございます。450 万人による効果は申し訳ございません、推計がちょっと不能なので申し訳ございません。観光消費額といたしましては、平成 28 年の県の調査になりますが、日帰りが約 4,543 円、宿泊につきましては約 2 万円ということで統計が出ております。これに実人数を乗じることで消費効果が図られるかと思っておりますのでお願いいたします。

委員長 ; 他に質疑がありませんので、質疑を終結いたします。本件に対する討論はありませんか。
（「なし。」という者あり）

委員長 ; 討論はありませんので、ただ今から採決を行います。

「議第 35 号 平成 30 年度恵那市一般会計予算（歳入歳出所管部分）」は原案のとおり可決すべきものに賛成の諸君の挙手を求めます。

（全 会 一 致）

全会一致であります。よって、「議第 35 号」は原案のとおり可決すべきものと決しました。

委員長 ; 次に、「議第 38 号 平成 30 年度恵那市農業集落排水事業特別会計予算」を議題といたします。予算資料の 70、71 ページをお願いいたします。本件に対する質疑を行います。ご質疑はありませんか。

(「なし。」という者あり)

委員長 ; ご質疑なしと認め、質疑を終結いたします。本件に対する討論はありませんか。

(「なし。」という者あり)

委員長 ; 討論はありませんので、ただ今から採決を行います。

「議第 38 号 平成 30 年度恵那市農業集落排水事業特別会計予算」は原案のとおり可決すべきものに賛成の諸君の挙手を求めます。

(全 会 一 致)

委員長 ; 全会一致であります。よって、「議第 38 号」は原案のとおり可決すべきものと決しました。

委員長 ; 次に、「議第 39 号 平成 30 年度恵那市公共下水道事業特別会計予算」を議題といたします。予算資料の 72 ページから 74 ページをお願いいたします。本件に対する質疑を行います。ご質疑はありませんか。4 番委員。

4 番委員 ; 全体的になるわけですが、長期投資計画を聞きましたけども、これについて計画は立ててあるのかどうなのか、全体にね。それをお伺いいたします。長期財政計画、前は総合計画と一緒にあってあったもんだから見えるけど、なかなかホームページでは見えんわけね。全体として、恵那市の財政計画というやつが。そういう中で、いろいろインフラもこれからかけていかなあかんし、人は減るし、国からの交付税も減ってくる中で、どんなような計画を立てているのか、計画だけでも市民に示してほしいと。どっかに出とればそれでいいですけども、ちょっと教えていただきたいんですが、この下水の関係。

委員長 ; 上下水道課長。

上下水道課長 ; 長期投資計画につきましては、平成 28 年度に水道事業、下水道事業について安定的事業を継続していくための、中長期的な基本計画である経営戦略を策定しております。内容につきましては 28 年度から 10 年間の料金収入や建設改良事業、資金収支などを定めております。その中で投資計画について下水道事業では、下水道施設の処理場や管渠の改築更新、耐震化を計画し、平成 37 年度までに 32 億円の投資を見込んでおります。なお、平成 32 年度より地方公営企業法の適用する予定でございますが、現在準備を進めておりますけど、単式簿記から複式簿記に経理が変更になるこ

とから 31 年度中に投資計画を含めた収支計画を見直ししていきます。この経営戦略等については市のホームページで掲載しております。以上です。

委員長 ; ほかに質疑はありませんか。

(「なし。」という者あり)

委員長 ; ご質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

本件に対する討論はありませんか。

(「なし。」という者あり)

委員長 ; 討論はありませんので、ただ今から採決を行います。

「議第 39 号 平成 30 年度恵那市公共下水道事業特別会計予算」は原案のとおり可決すべきものに賛成の諸君の挙手を求めます。

(全 会 一 致)

委員長 ; 全会一致であります。よって、「議第 39 号」は原案のとおり可決すべきものと決しました。

委員長 ; 次に、「議第 43 号 平成 30 年度恵那市水道事業会計予算」を議題といたします。

予算資料の 79 ページから 84 ページをお願いいたします。本件に対する質疑を行います。ご質疑はありませんか。

(「なし。」という者あり)

委員長 ; ご質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

本件に対する討論はありませんか。

(「なし。」という者あり)

委員長 ; 討論はありませんので、ただ今から採決を行います。

「議第 43 号 平成 30 年度恵那市水道事業会計予算」は原案のとおり可決すべきものに賛成の諸君の挙手を求めます。

(全 会 一 致)

委員長 ; 全会一致であります。よって、「議第 43 号」は原案のとおり可決すべきものと決しました。

委員長 ; 以上で予定の議題をすべて終了致しました。ご協力ありがとうございました。

最後に、本会議における委員会審査結果報告書の作成については、正副委員長に一任いただくことに、ご異議ありませんか。

(「異議なし。」という者あり)

委員長 ; ありがとうございます。

それではこれもちまして、平成 30 年第 1 回経済建設委員会を閉会いたします。ありがとうございます。

午前 11 時 46 分閉会

恵那市議会委員会条例第 30 条の規定によりここに署名又は押印する。

恵那市議会 経済建設委員長 町 野 道 明